大正二年四月二十六日第三種郵便物認可 大正三年十一月

SHIN SHIN FUJIN

The First Magazine of Woman's Movement in Japan.

新眞婦人

十一月號 （第十九號）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電本 八八八（病院用）
八九八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長 醫學士高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

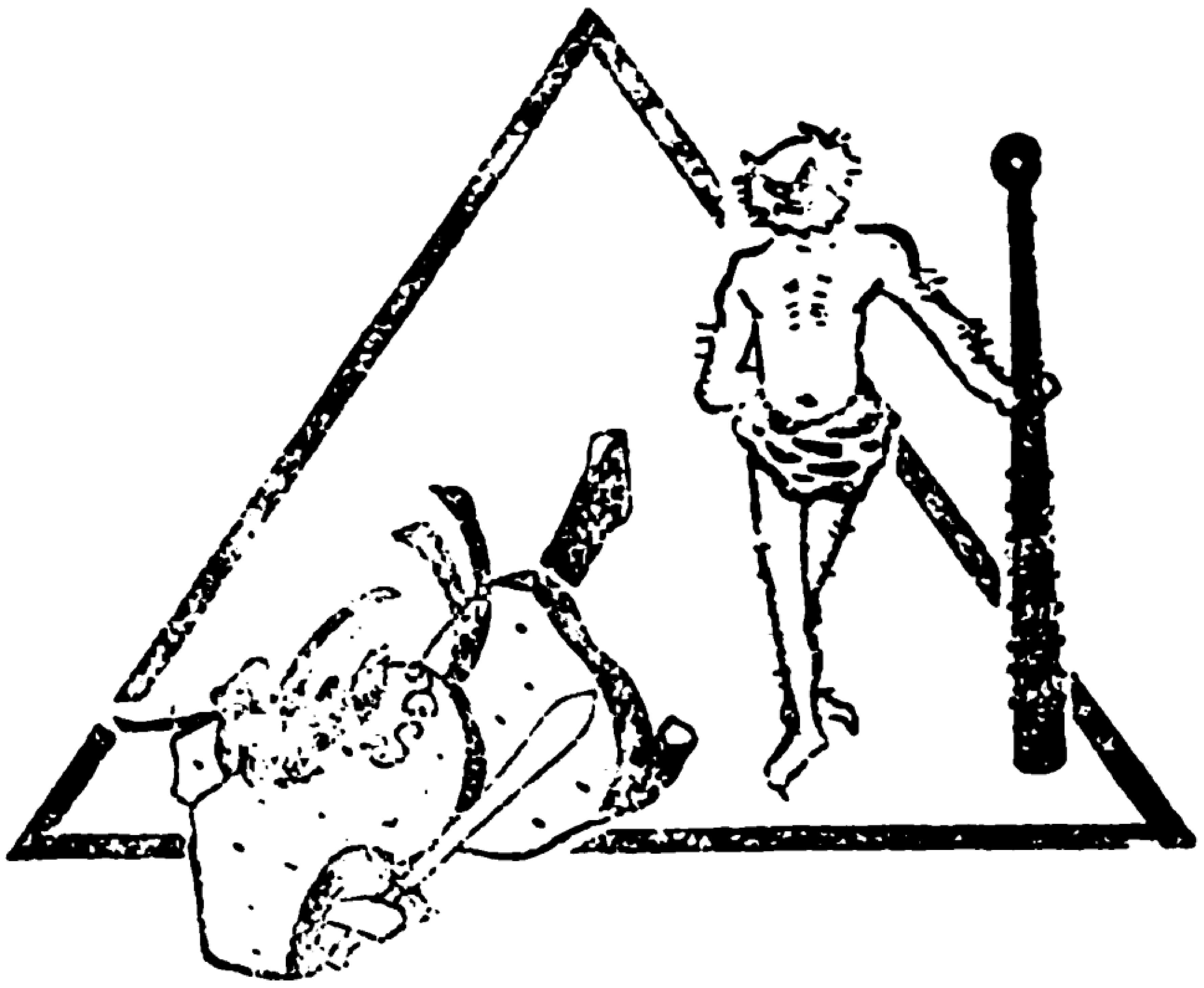
電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鬼に金棒！化粧に「ラベル白粉」



氣品高き

ラベル白粉の淑女化粧は容姿を月の如く、花の如く美しくす。美しき顔を望まる丶方はスグ試み給へ

ラベル 化粧液 石鹸 白粉 つやふきん
發賣元 佐々木商店
東京銀座

白粉下には日本一のラベル化粧液を御用ゐあれ。

顔を美しくする秘決

美しい顔は誰人でもお好みになりますが此の美しい顔を作ります事は一朝一夕の事では御座いませぬ、要するに肌膚の手入が一番大切で御座いまして例へば土臺のない處には家を建る事が出來ません如うに美しいスベスベした白羽二重の如な肌でなければ美しい顔とは申されません、美しい肌を作るには日本一との評判の高いラベル石鹸を洗身料にその後へラベル化粧液を塗けて肌に營養を加へ斯く整へられた肌にラベル白粉をつけますれば何人でも美しい化粧顔となれますのです

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十一月號目次

口繪　秋の心　藤森靜雄氏筆
同　牛と犬
職業婦人
　增加の傾向　高島平三郎……(二)
　が增加せば社會にドンナ變化が起るか　西川光次郎……(五)
泡沫のあと　日向きむ……(七)
日本婦人史蹟　新眞婦人社編……(八)
歌と俳句　同人……(九)
銀の盃　山田きよ……(一〇)
女性中心論(二)　高野重三譯……(一五)
秋風十句　稻葉茂子……(二三)
秋風樂　濱萩……(二四)
我國の婦人運動に就て　坂本正雄……(二九)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鹿兒島の女　久留天豪…(三三)
海外婦人消息　中尾清太郎…(三六)
動搖の心もて――戰爭　みをつくし…(四〇)
筆のしづく　玉露女…(四一)
婦人論八ツ當り　八方醜婦…(四五)
女子の天性　中村生…(四九)
蛙鳴會の記　コノ字…(五〇)
代理部新設の披露
抱月夫人に與ふる書　西川文子…(五二)
婦人美容法研究會趣意書　小口みち子…(五四)
編輯餘錄
新刊紹介
本社の相談部
投書募集

十一月一日發行

專賣特許
エンゼル香油
ANGEL & CO. TOKYO
本舖 エンゼル商會 東京

東京朝日新聞記者 松崎天民著

同棲十三年

四六判 特製函入 參版

正價金八拾五錢 送料八錢

本書は松崎天民氏が、昨年十一月、愛妻に死別せる前後の事件と感想とを、極めて眞實に極めて露骨に、極めて大膽に、小說風に描寫せる大篇に有之候。天民氏は新聞記者にして、世の所謂文士に非ざれども、其の眞摯なる感情の流露と、其の嬌飾なき筆致とは、文壇稀に見る異才なりとの定評有之候。本篇また亡妻に對する懺悔、愛兒に對する同情、獨身者の寂寥等を描いて、情思綿々、惻々として讀者の心を動かし候。事實と實感とを描いて、然も小說以上に深大なる感動を與ふるもの、蓋し本書の如きは文壇稀有の產物と申すべく候。斯る事件と斯る感情とは、何人の上にも共通する所にして、また何人も共鳴を感ぜらるべく、是非一本を購讀せられたく御すゝめ申上候。

天民著

好評六版 **淪落の女** 價五拾錢 送料六錢

參版 社會觀察 **萬年筆** 價七十錢 送料八錢

漱石楚人冠英作 書翰序文題畫 岡本一平著併畫 晶子玄耳樂堂 天民雪鳥評 むら子著

探訪畫趣 六拾五錢 送料八錢

男日女日 價五十錢 送料六錢

發行所 東京日本橋鐵砲町六番地 振替東京壹五〇五六番 磯部甲陽堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊 近世文學 四編

坪内逍遙閲 中嶋孤鴫譯述

ゾラ原作 生の悅び

實驗小說の鼻祖、現實曝露としての率先者ゾラの大名を知らざる者は天下にあらず、而も其最も穩健なる代表作の國語に完譯されたるものは未だ一だも行はれず隨つて彼れは世に誤解されて、卑陋猥褻をのみ喜び寫せる作家とせらる、寃も亦甚し。本書は彼れが巨篇ルーゴン・マッカル叢書中の白眉、例の遺傳問題を中心として世紀末デカタンを主人公とし、極めて大膽に赤裸々に其周圍者の內秘を描破し、時に性慾問題に觸るると同時に、準天才肌の苦悶と失敗と病癖とを最も深刻に剔抉し來る處鋭く現代人の同感を惹かずんばあらず。蓋し主人公はイプセンが「幽靈」「鴨」等の人物と同型、而して現代青年の多くは今尙彼れのと同一なる血脈を傳へたれば也。尙此主人公に配するに犧牲的精神の權化たるに近き一淑女を以てす、是れ實にゾラドストエフスキー作中の女性と相比照して玩味せば感興更に幾層ならん。

總布製美本函入
正價壹圓四拾錢
(三千部限)特價 金壹圓卄錢
郵稅十二錢

▶既刊◀

(近世文學)一、二、 相馬御風譯
トルストイ作 アンナ・カレニナ
(布製全二册 千四百餘頁)
正價金參圓
特價金貳圓五拾錢
郵稅十六錢

(近世文學)三 吉江孤雁譯
ゴーリキー作 三人
(布製全一册 六百頁)
正價金壹圓五拾錢
特價金壹圓貳拾錢
郵稅十二錢

發行所 東京牛込早稻田 振替東京一一二三番 **早稻田大學出版部**

賣捌 神田東京堂 日本橋至誠堂 京橋北隆館 大阪盛文館 其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋のこゝろ　藤森静雄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●靈の進展！處女主義の勝利！

内藤千代子著

生ひ立ちの記

忽ち四版

目次

□搖籃の地□貧けす嫌ひの本領發揮□農村年中行事の一端□吟子姉様と手風琴□水の魅力、幼い秘密□患しきあきらめ□少女太公望□歡喜に輝ける夏□お登久さん□紅猪口の思ひで！□初めて文學に志す□養鶏園のヒロインを氣取る□友のゆくゑ□父を山寺の火葬場に送りて□東京見物の追憶□初島田の印象□かるたのまとひ□晴の飛躍の初舞臺□高嶺の白百合□肩揚に別るゝ悲哀□秋扇怨□泉のローマンス□結婚問題と東都遊學□人生の春□不安、動搖、煩悶の時代□所謂才士佳人の奇遇□初めて帝劇へ□窮島懷に入る□聖なる兄よ妹よ□日記一週間□憎からぬ人の着せたる濡衣は□悲劇？　喜劇？□春宵怨□文箱の秘密□離れ行く靈□燃ゆるはひとり花のみかは□懷疑のはては刄をおもふ□死の影□狂風一過落花慘憺□若き終焉□冷たき額に接吻けて□屍を燒くの爐□なくてぞ人は：：□諒閣の秋□大阪行□五色の酒に醉ふて苦しむ□銀色映ゆる金屛の影□除夜の感想、不覺の涙□鶩異の眼□跋に代へて（完）

『スヰートホーム』『ホーネムーン』『エンゲーヂ』の三著に依て滿天下の讀者を驚喜せしめたる著者は、今や進んで『生ひ立ちの記』一卷を完結す。こは前著三著と異り最も秩序ある著者の自叙傳にして、前半約四分ノ一は今春既に『女學世界』誌上に於て四回に亙り異常の喝采を博したるもの。而して後半四分の三は、實にこれ著者が七月以降酷熱の間、多大の犠牲を拂つて新たに執筆せる流血の文字。露骨に言へば戀の告白！　叱ッ、愛の爭闘！靈の行軍！之れを綴るに著者獨特の才華燃ゆるが如き文章を以てす。げに情思熾烈、行文絶妙、一讀三嘆、喪神、斷腸の感あらしむとも言ひたくなるなり。著者は今や芳紀正に廿二歲、曾て一日校門を潛らず、而も常人の企及し能はざる才文を作る。詢に聖代の奇蹟と稱するも敢て過言に非ざる也。著者は斯の如き天稟を有すると共に亦眞に大なる人生を味はひ來れり。不安、動搖、煩悶の時代以後に於ける著者の緊張せる生活が、如何に讀者を[illegible]せしむるかは蓋し疑を容れず。願はくは滿天下の文藝愛好家諸君速かに一讀以て著者の神秘に浴せられん事を切望す。

著者最近肖像、並びに住宅、及び鵠沼海岸、其他各地寫眞版八葉入

四六版用紙精選
紙數三百九十頁
正價金七拾錢
郵送料八錢

●發行所

東京市本郷區本郷四丁目
［電話下谷四九四一番］
［振替東京二七八七五番］

牧民社

取次 新眞婦人社代理部

支店 京城 大阪 仙臺

出張所 京都・廣島・名古屋・金澤・九州・臺灣

東洋生命保險株式會社

東京市日本橋區本町一丁目十一番地

電話本局 四五一〇番・四五一一番・四五一二番・四五一三番

振替貯金口座一七九一番

本社 東京市京橋區銀座一丁目六番地

電話 京橋 六四一番
同特長 六四二番
同 六四三番

振替貯金口座東京二〇、七五〇番

○生命保險界の一新機軸

東海生命保險相互會社

○最も進歩せる相互組織

支部
大阪市東區高麗橋二丁目二十三番地
電話長東二、二五七番
振替貯金口座大阪一〇、三〇〇番
福岡市博多馬場新町八番地
電話福岡特長五八八番
振替貯金口座福岡三、一〇〇番

監督所
仙臺市東八番町九〇 電話八一四
廣島市下流川九 同一、〇八七
金澤市十三間町一六 同一、一七二
名古屋市中區松枝町一ノ二七 同三、五二六
京城大和町三丁目新道 同一、四六二

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋長二二〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 内野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫
取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

佐藤紅綠先生 四大傑作發賣

光の巷

石井滴水氏畫口繪縮寫

日下讀賣新聞連載中　上編三版中編出來

東京本郷座に於て上場され四十萬觀客を恍惚たらしめし者

菊版箱入裝禎爽美
定價各金九拾五錢
郵送料各金八錢

下編近刊

時事新報連載 大好評 四版出來

家庭小說 **谷底** 全二冊

總クロース菊版箱入美裝前後、定價各金九十五錢郵稅各八錢

再版愈々出來 帝劇女優新派俳優舞臺コロタイプ九葉

紅綠脚本集

裝禎極美箱入 定價金九十錢 郵稅八錢

目次 一日の出 母 あきら 一め 姉と妹 瘦馬

時事新報掲載 大好評 再版出來

總クロース菊版箱入美裝

嵐 全二冊

前編(二六六頁)定價金九十五錢郵稅八錢
後編(四二二頁)定價金一圓卅錢郵稅十二錢

全國到る所の書店にあり

發賣元 菊屋出版部

電話番町四八五六番
振替東京二七四三六番

東京牛込區早稻田鶴巻町二百六十番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

講談倶樂部

第四卷拾壹月號

■面白くて爲めになる講談雜誌の親玉は講談倶樂部なり

● 大岡政談 白浪三人男（長篇新講談）……市村俗佛

■演藝評判記……數名執筆

■大阪の女義界……吉田抱水

● 天晴才次……武田仰天子

● 戀の光秀……夢想兵衛

□新年號大懸賞俳句豫選發表

古今俳優一夕話……洞殿司

● 花川戸助六……太郎

● 落語 定つた命……怒濤庵

● 愛の一念……吾山

● 活動寫眞 軍神……白山人

● 血染の位牌……芋作

● 人情 民謠物語……渚の人

● 髮結の仇討……洞殿司

● 少女小說 軍事探偵……阿部彰

□陶工木兵衛の俠氣……小山蒼海

□彥左のヨタ……歌二

● 人斬菊外……望月紫峯

● 妻子召捕……燕左衛門

■九星運氣……乙斗星

■義士一口浪花節……猛濤子

● 講談式新脚本 地主の娘……泉斜汀

■每號莫大の金品を投じて大懸賞を募集するは本誌の特色

口繪石版寫眞豐富

價廿五錢稅貳錢半

十二冊郵稅共前金二圓八十錢

東京本郷駒込坂下町

講談社

口座 六六二九

電下 四〇五四 六四九九

どうするでしやう！

新眞婦人第十九號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

職業婦人増加の傾向

高島平三郎

人間の生活を大體、農業本位と商工業本位とに區別することが出來るのであるが、此の本位が違うて來ると、其の影響が『家庭の狀態』『男女の分業』其他の上にも及んで來る。日本は今まで農業本位の國であつたが、西洋の諸國は割合に早く商工業本位となつて居た、其の本位の相違から、日本には長く家族制度が續き、西洋諸國には早くから個人主義が發達すると云ふ風な違ひが生じて來たものである。されば日本が今後も家族制度を維持して行かうと云ふには、どこまでも農業本位を維持して行かねばならぬが、之れは實に出來ないことである。國内で事を足らして居た昔の時代に於ては、此の小さい國も農業本位で立つことが出來たが、今の樣に人口が增加し、又外國との交通が頻繁では、トテも農業本位で押とほすと云ふワケに行かない。

農業本位の國で、家族制度の續いて居る所に於ては、男子は外に出て働き、女子は家內にありて臺所の仕事、育兒の世話などに骨を折るのが普通であつて、此の場合、女子の權利と人格を尊重する思慮ある少數の男子の外は、自分一人働いてる樣であるが、實は家內と分業であるとは考へない。多くは夫は妻を養うて居ると考へ、雇人の如く考へてるのが常である。併し今後は日本は農業本位で立つことが出來ないのであるから、今までの樣な家族制度が續かず、將來は女子も獨立して生活出來る丈けの資產か、收入ある職業を以て結婚し、結婚は實力を以ての結合と云ふことになるであらう。西洋の中等以上の家庭を見るに、夫は外に出て働き、妻は家に居て家事に勞し、多くは外觀上、日本の家庭と代りはないが、併しながら彼の國に於ては、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妻の財産のないものは殆んどないのである。然からざれば妻も收入ある勞働に服して居るのである。既に日本の婦人も、ダン〳〵職業に從事する樣になつて來た、之れ時勢の然からしむる所であつて、如何ともすることが出來ない。今は其の必要なき婦人でも、一朝事ある場合に、獨立の出來る丈けの職業を心得て置くと云ふことは、現今及び將來の婦人には大切なことである。

併し茲に注意せなくてはならぬことは、職業婦人の精神狀態が、今までの一に夫によりかゝつて居た婦人とは著しく變つて來ることである。今までの婦人は一に夫によりかゝり、夫に其の生存を保護されて居たのであるから、自然弱くやさしくなり、夫を天と仰いで、之れに絕體に服從して居た。之れが習慣になつて從來の日本男子は勿論、現在の日本男子も、女子は弱かるべきもの、服從すべきものと思うて居るが、豈計らんや之れは天の定めたものでもなく、又當然サウあるべき人間全體に通じた道德律でもない。 長い間の生活狀態から自然に導かれた結果に過ぎなかつたのである。夫れ故に、今後獨立の婦人を妻とする場合には男子は考をかへねばならぬ。たゞの婦人を取扱ふツモリで職業婦人に對すれば非常な衝突を來たすことになる。斯かることの空想でない證據には、例へば女髮結などの家に於ては、一般の家庭に於てとは反對に、女子の權力が非常に大きいではないか。又夫婦共に勞働して居る勞働社會に於ては、昔から其の家庭が西洋風で、男子の專政を許して居らぬではないか。一般が男尊女卑だから、勞働社會に於ても外觀は男尊女卑であるが、實は女の權力がナカ〳〵大である。

獨立婦人自からは又、人間は兎角獨立が出來る樣になると餘程自己に信賴する樣になる、之れが善く發達すれば、自尊、自賴、自立と云ふ樣な、道德上最も重すべき精神を發達さすことになつて誠に結構であるが、一步を過ると、ソレが我儘の元になつて、其の品行を紊し、其の德性に傷をつける樣なことになる恐れがある。婦人が貞操を保つのは、勿論純粹の道德から來る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

場合がないではないが、多くは貞操を破れば夫からも世間からも排斥されて、立つ瀬がないから、强て愛を抑へて因襲道德に從うて居るのである。ソレだから獨立が出來る程の收入があつて、生活上一人の夫に賴らなくても善いことになると、大に品行の紊れる恐れがある。之れ大に戒めなければならぬ點である。

今日まで男子は實に我儘をして來た、ソレがドレ丈け其の家庭と其の子孫に禍したか知れない。例へば花柳病やアルコール中毒、其の禍一代に止まらずして、子孫にも及んで居る。けれども婦人が愼み深かつた爲めに、或は其の缺點を補ひ、又或は其の不德を幾分は枉正することが出來て、民族が滅亡するまでには至らずして濟むことが出來た。例へば琉球民族の如き婦人も男子同樣にアルコールを過飮せば、此の民族は遂に亡ぶべきであつたが、幸にも婦人はアルコールを一滴も口にしないので、今日も存在し得て居るのである。されば婦人も我儘をすると云ふことになれば、日本民族の將來は誠に寒心に堪へない。此の點は職業的婦人に對して最も警告せねばならぬ。

男子が不品行すれば、婦人も不品行をしてよいと云ふのは、豚が汚ないものを食ふから、人間も汚ないものを食べる權利があると云ふのと、同じで、反て自からを卑しくすることになる。獨立の力と、强固な意志のある婦人にも、從來の婦人の謙遜と優美の德があつて欲しい。

職業的婦人は、家庭的の婦人よりは、概して其の觀察が廣くなり、其の考が系統的、組織的になり、又感情的でなく意志的となるのが、普通であるから、自然弱々しい、涙の人であるよりは、手の人、頭の人であると云ふことになり從て其の容貌も變化して、從來可憐に見えたものが、悧口らしく威嚴ある如く見えて來て、男子が玩弄視することが出來なくなる。現に西洋の中流以上の婦人は美しい中にデグニチーを備へて居る。斯くて玆に始めて戀愛も對立的相互的となり得るのである。

さて日本民族の將來を憂ふるものは、豫じめ此等の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事に心を用ゐて、職業的婦人の増加が家庭に社會にドンナ影響を與ふるかを十分考へねばならぬ。

職業婦人が増加せば社會にドンナ變化が起るであらうか

西川光次郎

（一）

今後は日本にも職業婦人の年々増加すべきは、高島先生の云はるゝ通りであるから、之れからの婦人は若い時から職業的教育をも受けて置かねばならぬ。結婚すると、せざるとに係はらず、兎も角も職業上の教育、訓練を受けて置かねばならぬ。併し婦人の職業教育に就ては、他日論ずることにして、私は今、職業婦人が増加すれば社會にドンナ變化が起るかを、一言して見たいのである。

（二）

先づ第一に家庭に於ける男尊女卑の風がなくなつて、引て社會に於ても男尊女卑の弊風が減少するであらう。金錢の爲めに愛なき男に身を任せることが、賣淫であるとせば、結婚せる男女の間にも賣淫ありと云はざるを得ないが、職業婦人が増加せば、ソンナ夫婦は減少するであらう。又職業婦人が増えれば、生活の爲めに賣淫婦となる樣なものも減少するに至ることであらう。其他色々の變化が起るであらうが、私の最も云つて見たいのは左の點である。

（三）

男女はより少なくでなく、より多く相知ることを要する、社會は即ち男女がより多く相知ることによつて進歩するのである。男子、婦人、子供、之れは日々交際することを要する、遊ぶにも、仕事をするにも、でないと眞の文明は來ない。人道は男女共にあることを意味するのである(Humanity means being together)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其の證據に、紡績工場の寄宿舍とか、兵營とかと云ふ風に、女子なり、男子なりが異性との交際を隔離されてる所に於ては、必らず風俗が紊れ、此の人々の精神狀態が或點に於て異狀を呈して居るものである。

されば識者は夙に男女交際を盛んにせなくてはならぬと考へてるのであるが、中々行はれ難い。男女の交際は兎角直ちに性的の意味に解され勝ちで、どうも旨く行かない。けれども職業婦人の增加するに從ひ、ソウ云ふ婦人と或男子とは、職業の上から事務的に接することが出來て、從來にない自由な交際が出來る樣である。人も亦た之れを性的に見て疑はぬ樣である。

ソレで益々斯種の婦人が增えて來ると、男女交際の自由が一般的になつて來て、職業婦人でない婦人でも自由に交際が出來る樣になり、家庭に於て男女が共同者であるばかりでなく社會に於ても各方面に於て男女が共に働く樣になつて來て、社會が著しく婦人の色彩をも帶びて來ると考へる。夫れがドレ丈け凡ての勞働を愉快なもの、意味深きものにするか知れない。

米國では職業婦人增加の結果、近頃婦人倶樂部が非常に大きな有力なものになつて來て、此の婦人倶樂部の人達は、切りに『都市の母性化』と云ふことを唱へて居るが、獨り都市ばかりでなく、國家も政黨も、會社も銀行も、鐵道も新聞も、將來大に母性化せねばならぬのである。

私は日本にも、遠からず職業婦人增加の結果有力な婦人倶樂部が出來て來て、今、米國に見るが如き、社會を母性化せんとの運動が起るに至る事と信ずる。

（四）

私は近頃、信州諏訪附近の農村に非常に醜業婦が多い、或人が不思議に思うて調べて見た所、其の原因は、農村の處女が殆んど悉く諏訪の製糸工場に吸收されて、工場の寄宿舍で生活するに至り、農村に處女を見ざること丶なつたので、青年が異性と交際することか絕體になくなつた爲めであると知れたと云ふ話を耳にしたが、一面には職業婦人の增加と共に、右に述べたとは反對の、斯かる現象が起らぬでもない。けれど

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も之れは元より早晩改善されて、一切の工女を通勤にするか、若しくは日々一定の自由外出時間を設けるに至ることであらう。

又下女に賣淫するもの丶多いのは、其の生活の單調過ぎる爲めである、彼女等の爲めに一定の自由時間と、倶樂部とを設けてやれば、彼女等の品性を改善することが出來るとの論が歐米で喧ましいが、之れも早晩彼國では勿論我國などでも實行さるゝに至ることであらう。

其他職業婦人の自由を制限する一切のもの丶中、道理に合はぬものは、早晩悉く相當の方法で改善されて了つて、結局、獨立な男子と、獨立な婦人とが、如何なる事業をも共力して爲し得るに至り、將來の社會は今日の社會よりは著しく母性化するに至ることであらう。

泡沫のあと

日向きむ

水莖きの歌のてならひあとしろく
　とめし思ひも消えゆくものか
むさしのゝ野もりが萩は枯れにしを
　秋のならひにとへろ風はも
朝顔もあさなあさなに笑ふなり
　はかなき夢をなにゝたとへむ
　ふろきこよみの八月もちに、
文使ひの今のりて來む白駒に
　いざかりかはむ一むらすゝき
　眞間の入江をみて、
をとめ子が漂ふ墓に苔むして
　白き花咲くあきの夕ぐれ
こゝろから野邊のすゝきをうつし植ゑて
　またほにいづろ秋を見ろかな
さらぬだにいをれぬ秋をひさかたの
　月もさかりとなりにけろかな
家路いそぐ夕べまどひに袖すりて
　市のもなかに見しは誰か子ぞ、
天のぼろあした待ち得ししら露の
　かゝろ生命ぞあはれなりけろ、
かつしかや入江に分くろ濱荻の
　そよそよさらに世をも見てまし、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本婦人史蹟

新眞婦人社編

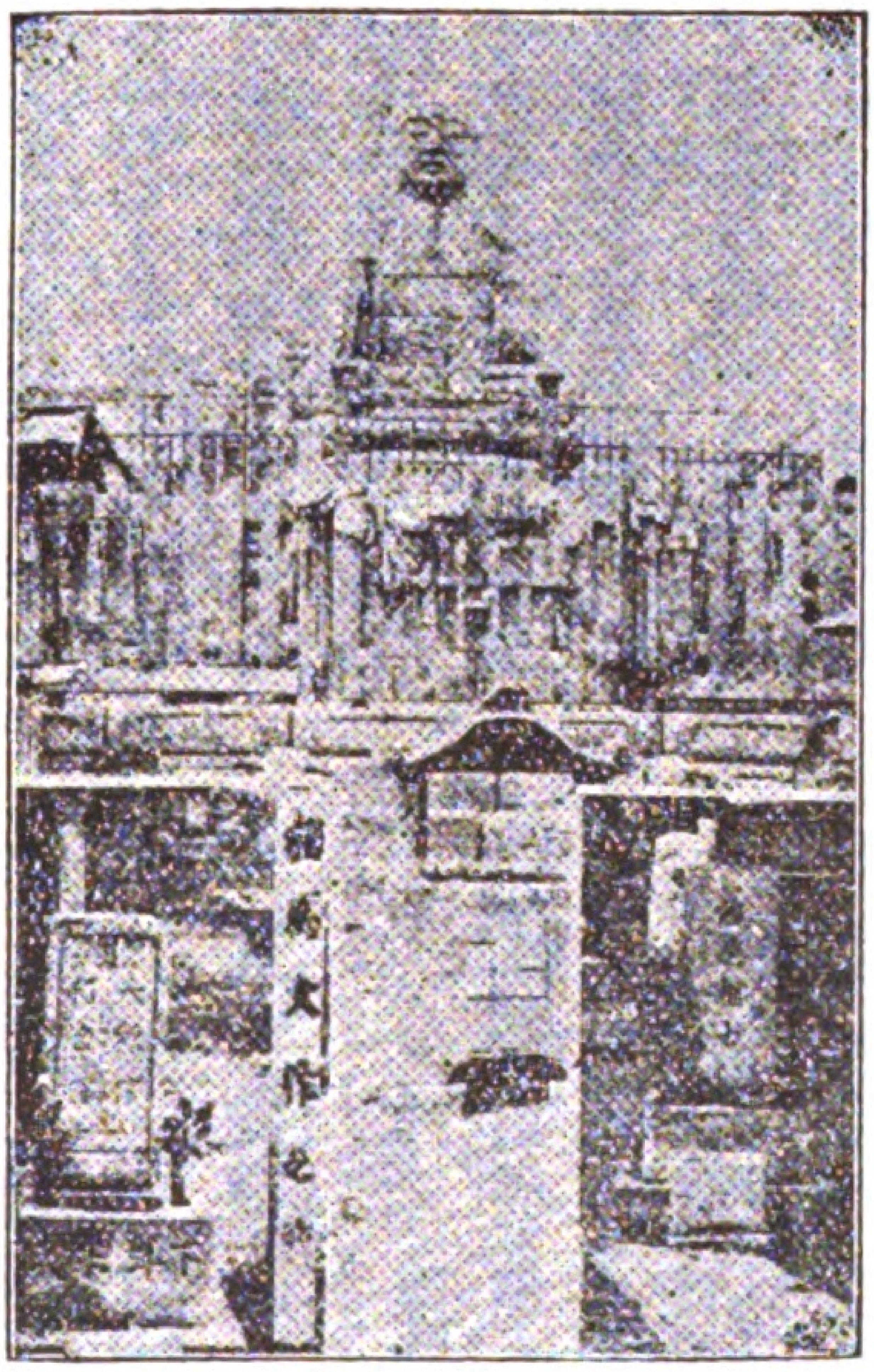
はしがき

本社では今回『日本婦人史蹟』の編輯を思ひ立つた、元より短日月の中に完成することは出來ないが、根氣よく材料を蒐集して完全なものにしたい考へです、就ては讀者の方々にも御助力をして貰ひたいのです。蒐集した材料の一部は本誌に掲載して行きますから、大體コゥ云ふ風に諸君の手近にある材料を書き綴つて御送り下さい。

妓瀧本の墓

南千住の回向院は、橋本左内、吉田松陰、鼠小僧、相馬大作、櫻田の志士等の刑せられた所であるので、有名です。此の邊一體小塚原と云はるゝ所で、昔は藪と大木とがいやが上に茂つて居たもので、刑場のあたりには、死骸を喰ふ恐ろしい大犬が澤山居たと云ふが、今は藪も大木もありません、立派な町になつて居ります。

此の回向院のウラの墓地相馬大作の墓の後ろに妓瀧本の墓があります。瀧本は芳原の娼婦で櫻田の志士關鐵之助に關係あつたものです。櫻田で同志と共に伊井大老を暗殺して後、鐵之助は身を藥種商に扮して行方を暗らまし、文久元年十月まで何所に行つたか知れなんだのである。ソレで幕吏は瀧本を捕へて糺問したのです。瀧本は之れを知らざるにあらざるも、愛人の大事であるから、白狀しない、餘りに强情なので憎まれて殺さるゝに至つたものです。



回向院裏の墓地

是れより先き、志士の陰謀に關係ありと云ふので捕へられた、老女村岡、若江薫子、黑澤登幾子等は『皆な女の身なれば』と云ふので、斬に處せられずして放たれたが、此等の先例あるにも係はらず、獨り瀧本は刑に處せられた、餘程其の强情が憎しみを增したものと見える。ソレでも普通の婦人であればイクラか容赦もしたらうが、娼婦であつたので、憎まれ損になつたものでせう。カゥ思ふと一層同情に堪へません。

ソレは兎に角、回向院の墓場にある只つた一つの女の墓として、之れが頗ぶる弔客の眼をひきます。

遊就館内の異彩

九段の招魂社境内にある遊就館には、御承知の通り、古代からの武器のみが集められてあるのですが、此の中に古い二升五合釜と、菜切庖刀と、周圍三寸、丈一百尺の毛綱とがある、之れが異彩を放つて頗ぶる參觀者の眼をひきます。

此古い釜と庖刀は熊本籠城の記念品で、釜は城中糧將に盡きんとした時、城將谷干城夫人が、おはぎを拵へて將士に配りしもの、又庖刀は澤庵桶が空らになつて、たゞ一本の澤庵を殘すのみとなつた時、最後の一本を切つたものだと云ひます。

毛綱は明治廿七八年、日清戰爭の時に、仙臺の氏家延子と云ふ、六十七歲の老婦人が、同志の婦人と謀り軍艦の具に充てんと欲し、一萬婦人の頭髮を集めて拵へたものです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌

吉原生

君戀ひて破れし日より我友は、物忘れにと繪を習ひそめぬ。
夏されば戀知らぬ君にすがられて、月にさまよひし白濱を思ふ
我は女壁とならなむたゞ我と、語らふ程の壁とならなむ
船の子は八月の日をあかなくに、凧など揚げて暮らしけるかも

近藤なを子

泣く日あり笑ふ日もありかく過ぎて、中年にして君に又逢ふ
かぎりなく文よむすきをねらふ子を、ねたみ給ふかにくみたまふか
思ひ出はなべて悲しきものなりき、樂しかりしも淋しき景も
美しき愛を知る子は何故に、斯く泣にくきものにやあるらむ

長田雪枝

ぼんやりとけふも暮して夜となりぬ、あゝ淋しさのひとり來るかな
うるさけれたゞ何事もうるさけれ、山奥に行かむなどと思ひぬ
仰ぎ見れば紺青の空高くして、重き心のすみて行くかな
自分かと鏡にうつる我貌の、不思議になりぬたゞわけもなく

みち子

花車女ひとりの手力に、月の大路を消えて行くかな

俳句

唐辛子干て風動く庇哉　洞子
釣り舟の野菊ゆかしき茶の間哉　同
出舟後のあはれを語る案山子哉　同
霧雨に毒吐く如し曼珠沙華　闇子
裏に籠る日の靜かさを蘭匂ふ　同
花枇杷や汲まで久しき車井戸　同
西扉に此室に木の葉散りつくす　同
燦として目を射る星や冬に入る　同
老いばみて鸚鵡(あうむ)語らず秋の暮　くみ子
鵙(もず)の來て睡りさますや五月の村　猶一
魚を割く十歩の庭や唐辛　同
鑄損れの鐘さび行くや秋の風　直人
龍膽(りんだう)や忘られてある登山杖　同
夢現たゆたふ夜半の砧かな　同
草紅葉分くれば細き流れ哉　とみ子
鬱屋見に起されて夜寒哉　同
木犀や戀風匂ふ奥御殿　同
夜や永し氷嚢替て藥煮て　同
紅絹(もみ)漬けて猶もの淋し秋の水　同
馬上から紫苑摘みけり小公子　同
色白き女笑うて夜寒かな　同
夜のしゞま破るともなし落し水　同
丘の上に茲と招くや墓參人　すみ子
墓參り女二人のしめやかに　同

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

銀の盃

山田きよ

女。何といふ寂しさだらう。霧のたちこめた庭の萩が、冷たい風に搖られて居る、きつと露が散らされたのだらう。秋の夕暮の遣瀬なさは私ばかりでもあるまい。細い管を傳はつて來るやうな、冷たいけれど何處か甘いやうな小さな雫が、私の胸にぽたり〳〵と絶間なく落ちて、それが次第に染んでは廣がつて、じめ〳〵と青苔の生えた土のやうに濕つぽく、私の體が底しれぬ悲哀にすつかりと浸されてゆき想だ。(間)こんな時にこそ誰か私の體をぎゆつと抱き締めて呉れゝばいゝ。私の心臟に毒の附いた絹針が一つづつ刺れてゆくやうだ、あゝ苦しい。

黒き影。急に弱音を吹き出したね。お前さんは枯れ〳〵に泣く蟲と同じやうに、秋の末に死ぬ運命を持つて生れて來たのぢやないか。

女。いつの間にかまたお前はやつて來たのね。私が死ぬつて？　まあ何だつてそんな事を言ふの？

黒き影。可愛想に分らないんだ。まあ考へてごらんよ、お前さんの戀はいつだつて秋風の吹く頃に終つて了ふぢやないか。

女。はゝ、お前のいふ戀は現世の果敢ない戀を差していふんだらう、馬鹿らしい。

黒き影。えら想な事をおいひだね。ぢやお前さんはやがて肉が細つて、腐れて、骸骨になつて了ふといふ事を考へてみたかえ。あの眞黒なうつろに成つた大きな眼や、僅かに昔の影を殘す、揃つた齒などを、自分の姿だと思つて見つめる事が出來たかえ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女。 それは誰でも同じぢやないか。

黒き影。 いゝや。お前さんは一寸位考へた事はあらうが、まだ見つめた事はないやうだ。聞いておいで、あのひゆうと秋風の吹く度毎に、地獄の扉の前に立つ瘠せさらばつた魔女が、歡樂の酒に醉ふ女の熱い血を覺したり、美しい若い肉を削いだりして行くのだよ。聞いてごらん、あの風の音！

女。 ちよつ！ みんな持つてゆけ冷たい風！ 私が僅か唇をふれた盃には、まだ飲まない酒がその儘に殘されて居る。みんな持つてゆけ惡魔！

黒き影。 大した御權幕だねえ、お姫樣。ところで盃のお酒はお前さん御自身のものですよ、たんと召し上つたらいゝでせう。私が見たからつて、そんなに虚勢を張らなくつてもいゝのだよ。野暮はいひませんからねえ。

女。 そんなに誘惑しなくつてもいゝわ。お前に言はれなくつても、私は今迄にいろんなお酒の壺を覗いてみたの。然し一つも氣に入るのは無かつた。酒と銘を打つものはみんな色は美しいけれど、手を滑らせれば直に碎けて了ふ硝子の盃に汲れるものばかり。私の盃に入れて私が飲まうとしたのはそれぢやなかつた、あの時唇をふれたのは冷たい水に渴いて居たからだ、後でそれが自分に分つて來た。

黒き影。 そんな殊勝氣た事をいふもんぢやない。お前さんは自分といふものを大切に守つて居る臆病な人間だね。まあ一息にぐいつと飲んでごらん、その醉心地といつたら忘られたものぢやない。第一世界中がみんな自分のものに成つてね、花の褥に夢みるやうな、柔風に撫でられるやうな、平和な幸福な氣持になれる、それから世間に恐ろしい者はちつともなくなつて、何とも言へない强いものに成つて了ふのさ、人によつて形は違ふが。

女。 ぢや私が飲んだら俤なるといふの？

黒き影。 結果を考へてから醉ふ女があるものかねえ、それが臆病だといふんだよ。無暗と一杯ひつかけてごらん、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お前さんのやうな女が酔つたなら、きつと並はづれて面白からうねえ、酔つて〱酔ひつぶれる事だらうよ。

女。それだ、それだ、私はそれが厭なのだよ。私の醜いその姿をみて、周圍の人達は手を拍いて笑ふ事だろう。

黒き影。さあ其處だねえ。お前さんの飲みたい水といふのは、其場合に始めて價値を現はして來るのさ。

女。今迄の人達はさうかもしれない。いゝえ、私は違つて居る、私は酔はずに飲む工夫を考へられる。

黒き影。垢ぬけのしない女だねえ、お前さんがいきなりその水を飲まうとしたなら、それは恐ろしい苦いものになるんだよ、慥して堪へられるものか。

女。私ひとり許でなく、前にも私のやうに考へた人もあるだらうに。

黒き影。さあ一寸はさういふ物好きをやる人間もあるがねえ、誰でも直に野暮な事だと悟るのさ。

女。お前はいつもさうやつて誘惑するの？

黒き影。さうともね。私は世の中の片意地な女ほど悲惨なものはないと思つて居る、心の奥では飲みたい、酔ひたいといふ欲求があり乍ら、冷たい水を待ち望んで居る。何ていふ矛盾さ加減だらう、笑はずには居られない。だかそれを誘惑して酔はしてやるのは私の義務だ、私はさういふ女を一度は只の女にしやうと思つて居る。それが私の仕事なのだ。

女。まあ何といふ強さうな聲を出すんだらう、それでお前は私を壓迫しやうと思ふんだね。

黒き影。まあその喧嘩腰は止めておくれ。私は苦しめて居やしない。唯お前さんのやうな臆病な女をみると、せひ酒の味を知り盡させてやり度なるんだよ、それに冷たい水の眞價を、ほんとは汲ませてやらうと思つてねえ。

女。いゝいゝ、おせつかいな人なのねえ。

黒き影。然うけなすもんぢやない。おまちよ、お前さんはいつかあの男が『たつた一度接吻しやう』と言つた時

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『そんなら星もひとつ光らない闇の夜に來て下さい、私は露臺の石段の二つ目に待て居ますから』と答へたぢやないか。

女。いつたわ。夢のうちに夢を持つて來ればこそ美しい追憶にもなるんだからねえ、あの人は流石に私の氣持がよく分つて居た、眞實に嬉しかつたの。あの時あの人が一言でも何か叫いたら、私はあの人の心臟を一突に刺してやらうと思つて、そつと懷劍を握つて居たの、銳い尖先が闇に光つて見えたつけ。

黑き影。氣違ひだね。うつかりお前さんに戀は出來やしない、命がけでなくつちやねえ。

女。えゝ命がけでなけりやあねえ、私の戀と死とは同時に來るもんだと思つて居たもの。

黑き影。おやお前さんは戀をするのでなくつて、心中の對手を探して居たやうなもんだ。

女。全くさうなの。けれどいまはまた死なふと言ふ事は不安の爲だつたと考へて來たの、私はもつと強いものが欲しくなつたの。

黑き影。あゝ、お前さんはよく夢をみる女だねえ、その望みは私によく分つて居る。永遠の男と永遠の女といふ事を考へて居るのだらう、信じられるかえ？ 臆病に限つてよくそんな事を編み出すんだよ。

女。信じられるとも、たしかに信じられるわ。或場合には意志の強さが臆病と見違へられるけれどね、私はもういまは神樣の前に跪づく許りに成つて了つた。

黑き影。まあお立ちよ。なんて弱蟲なんだらう、陰氣臭い眞似は若いものゝする事ぢやないよ。

女。あゝ。（吐息する）

黑き影。恐ろしい寂しい顏をしてゐるぢやないか、苦い水も飮まうとするからだ。お前さんはそれが飮みきれないうちに私を呼ぶだらうねえ、『來ておくれ、私はたつた一雫の甘いお酒を飮まうと思ふよ。たつた一雫だよ』きつと然う言ふだらうよけれどそれはお前さんの體が冷えてゆく時だ、死の手がお前さんをさらつてゆく時だ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女。何だつて斯う私をいぢめるんだらう。

黒き影。いゝえさ。その一雫を最後に欲しがらせるよりは、若いいまのうちにうんと飲ませてあげやうと言ふ事なんだよ。ほらまた秋風が吹いて來る、心中した男や女達の靈が來て囁き合つてるやうぢやないか。

女。あゝ。(また吐息する)

黒き影。いつの間にかお前さんの髮の毛がしつとりとして了つた、露に濡れたのだねえ。此美しい生え際が一筋づつ拔けて、薄くなつて行く事を惜しいと思はないかえ。毎朝鏡に向つてとかす時、櫛の齒にたまるのをぢつと見ては、秋が來たと言ふぢやないか。

女。もう私に何も言つておくれでない、私の傍によつてはいけない。

黒き影。私が離れたら恁なに失望するか知れないよ、お前さんにはそれが分らないんだ。

女。去つておくれ、去つておくれ。

黒き影。まあ靜寂な夕暮だねえ、眞黑な鳥が聲を立てずに鳴いてるやうだよ。私が去つて了つたら、お前さんは死に度なるだらう。

女。あゝ。(また吐息する)

黒き影。あゝ、さうやつて眼を伏せてはいけないよ、しつかりしてお出よ、お前さんの長い睫毛を傳はる涙は眞珠のやうに美しい。

女。………。

黒き影。(沈默)………あゝ。あの音を聞いたかえ、地獄の門の重い扉が締つたのだよ。

女。………。

黒き影。空にまばたきしてる星をごらん、あの星がお前さんに謎を話て居る、あれを見つめておいで。(黒き影去る)

女。………。(閉ぢたる眼を開らきて、靜かに空を見る。) あゝ星! あすこから流れて來る淸らかな銀色の水。私の盃にふさはしい冷やかな銀色の水。あゝ、私はあの水の洗禮を受けやう………。(大正三、一〇、二。)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女性中心論（二）

レスター、ワード述
高野重三意譯

女性中心説

本説は、有機界では女性が第一に位し、男性は第二に位すべきもの、凡ての事が女性を中心として計畫され男性は其の計畫を遂行する爲めに、必らずしも必要ならざるも、たゞ血筋の交叉によつて有機界の進歩を計る必要上、出來てるものであると説くのである。而して人類及び高等なる動物、並に鳥類の間に於て、男性が一見優秀であると云ふ風に見えて居るのは、生物學上若しくば心理學上の原則から説明され得らるゝ所の偶然の出來事であつて、若し生物全體より見ればホンの一少部分のみが男性がヤヽ優つて居るが如く見えて居るに過ぎないと主張するのである。卽ち此の説に從へば、男性中心説は、たゞ傳説、習慣若しくば僻見から起つて來る、人間の皮相の智識からの議論としか認められないのである。

女性中心説の歴史

本説は非常に嶄新な而かもヤヽ世間の驚異を催さしむる程の説なるが爲め、一應其のよつて來りし略歴を述べ置くの必要がある。自分の知り得る限りに於ては本説は余（ワード）自身の創見であるのである。

ワシントン市に、第六時倶樂部と云ふのがあつて時時食事を共にし又種々の問題に關して討論する事になつて居たが、其の倶樂部の第十四回の晩餐會が千八百八十八年（明治二十一年）の四月十六日にウキラルド、ホテルで催された折り、時しもワシントン市に滯在して居たスタントン、クザン、ウリス等の有名なる婦人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を、之れ幸と招待して共に食事をしたのであつた。ソコで其の夜の討論の題は『男女同等論』と云ふことであつた。自分は其の席上、面白をかしく色々の事實によつて女性中心説を唱へて討論を開始したのである。所が席上に居たライツーと云ふ有名なる昆蟲學者の如きは予が色々の昆蟲界に於ける事實を列擧して自分の説を述べたことに、少なからず興味を感じた。ソレまでは同敎授も此の事に就て餘り氣は付かなかつたのであるが、余の説を聞きて非常に贊成されたのである。其後余は新聞雜誌等にても、時々夫れに關する意見を述べたのであつたが、夫等に對して、有名なる科學者中にも反對された人が尠なくはなかつた。

何んだかコンナ風に云つて見ると、自分のことを吹聽する樣に當るが、之れは止むを得ないのであつて、余以前には餘りカウ云ふ説を適確に具體的に述べた人がないからである。併し多少ソレに似寄つたことを朧げながらに云つた人はないでもない。例へば有名なるコンドルセエの如き、左の如きことを云つてるのである。

古來婦人は男子に劣つて居ると稱せられて來た原因は、多くは其の社會の法律、制度、慣習、若しくば僻見から來てることが多いのであつて、若しも死、苦しみ等に對する忍耐力、其の決心の強固なること其の信ずることに忠實なること、其の豪毅なる精神等卽ち婦人の道德的の力を、男子のソレと比べて見ると、たゞに劣つて居らざるのみならず、大に優つて居ると見ることも出來るのである。男女兩性の平等若しくば不平等と云ふことに就ては、舊來の仕來から離れたる新しき觀察點によつて之れを判斷せねばならぬのである。

コムトの如き、婦人に對しては始め餘り尊敬の念のなかつた學者でさへ、此等の點を調べた後ちには、大に婦人の德を稱する樣になつたのである。而して名著『男女の特徵』の著者へブロック、エリスの如きは、最も男性中心説に拘泥しない人であつて。

婦人は新しき時代の男女の母である、從て幼兒を保

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

育するについては、男子よりも密接なる而かも間断なき關係を以て居るのである。故に天然自然と云ふ立場から考へて見ると、婦人は男子よりももつと大事なものである。

と云ひ、又

從來婦人は發達を拘束されたものであると云ふ議論が流行つて居るに對し、之れは全然間違つた議論であつて、寧ろ體格の上から云へば、幼者が最も進歩發達したるものであつて、成人殊に男子の成人したるものは寧ろ獸類に近い形を以て居る

と云ふてゐる位である。

けれども之れは元より少數で、男性中心説に有利なる説はドコにも流行して居るのである。たゞに哲學者又は有名な著者達が絶えず此の説を主張して居るのみならず、人類學者又は生物學者夫れ自身さへ脱線して此の議論を種々なる事實によつて辯護して居るのであるが、而かも其の事實を能く調査し、其の深意義を考へて見ると、何れも皆な反て女性中心説に有利なる事實であることを發見するのである。何せ此の樣なる妙な現象を呈するかと云ふと、昔から男性中心説は人々の頭に深く印せられて居て、世人が全然始めからサウ思ひ込んで居るが爲めに、容易なことで其の説を動かすことが出來ないからである。偶々深く考へる所の人が種々なる例外を發見して、ヤヽ此の説に疑を挿はさむ位のものであるからである。現にバハアオーフエンマクレナン、モルガン、等の如き、人種學の大家は、母系時代のことに就て色々説いて居りながら、其のよつて來たる原理については、氣の付かざることが往々あつたのである。又例へば前述ライリー教授の如き、昆蟲學の大家であつて、而して其の學問上の多くの事實が、余の唱ふる所の説を證據立て居るのみならず、敎授自から一種の理論家であつたにも係はらず、今日まで同敎授の頭には女性中心説なぞと云ふ考は起らなかつたのである。植物學者のミイハン敎授の如きにしても、其の書いたものゝ中には、イクラも余の説を證明する事實を擧げてるにも係はらず、女性中心説と云

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふことにはツイ氣が付かなかつたのである。其他澤山の學者が居ても何れも皆な舊來の僻見に囚はれ、ナカナカそれを捨てるに困難したものである。

生殖

生物學の中に於ても生殖及び性に關する事位不思議に且つ有力なるものはない。然かるに人類社會に於ては生殖の秘密を論ずることは一種の禁物とせられて居るので、特に此の問題を專門として研究して居るものの外は、其の事に關する智識を得ることを拒絶されてる次第である。併しながらベーコンも云ひし如く、「何事でも在ることは知るの必要ありである」、まして個人のみならず、種族若しくば生物全體の存在及び存續に必要なる生殖のことに於てをやである。

前にも云ひし如く、生殖は雌雄性とは全々違つて居て營養攝收と同じであるとは、余の主張する所で、ラマークにしても、ションペハウエルにしても、亦た前述のヘッケルの如きにしても、凡て余等と意見を同じうして居るのであるが、此の二點の如きは、特に大に一般人の信じて居ること丶は反對して居るのである。で尙ほ此の事に就て述べ、生殖の研究を續けて見たいのである。若し果して生殖と雌雄性とは、全然異なつたものであると云ふことが、眞理であるとせば、無性と云ふことは無用にして且つ誤解に導きやすい言葉となるが、普通の所謂無性と云ふ言葉を使用して、而して無性生殖を云ふことを左に述べて見たいと思ふのである。

無性生殖

其の第一の最も單純なる方法はアミバー（初生生物）がダン〳〵生長して來るに從へて、其の體が二個の殆んど同じ大さに分裂して、其の分裂したる個體が獨立して漸次生長し、ソレが又再び各々二個に分裂して獨立し同じことを繰返して無數に增加するのである。

第二の方法は單純なる細胞の生物が第一方法の如く二個の殆んど同じ様なる分量に分裂する代りに、二つ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の甚だ異なりたる分量に分れるのである。卽ち元の生物に芽が發生してソレが漸次生長して或程度に進んだ後ちに元の生物から全く分離するのである。其の芽が又或程度に發達すると他の芽を發生し、而して其の芽が漸次生長して第一の芽から分離するのである。此の方法は單純なる細胞の生物に行はれてるのみならず、種々なる下等動物又は植物にも行はれてるのである。之れを芽生の方法と云ふ。

第三、第二の方法は多く單細胞生物に行はれてる方法で、多細胞生物に於ては、澤山な細胞の一小部分が他の細胞より分離して、母體と同じき一個の獨立したるものに生長し、而して早晩其の母體より分離するのである。此の方法は多く植物様の動物又は吸蟲の間に行はれてるのである。

第四は、第三の方法と雌雄性生殖との間に位して居るものであつて、第三の多數の細胞の一部分が生長分離する代りに、其の中の單一なる細胞が元の生物から分離し（分離するまでは生長しないのである）、一旦分離するや否や、直ちに其の母體と同じ様に多數の細胞を有する有機體となるのである。之れは下等植物に一般に行はれてる生殖の方法である。

此の外に今一つ加ふべきものがある。ソレは單爲生殖法と云ふのである。殆んど卵に似たる生殖細胞が何等受精の助けなくして新規の生物に生長するのである但し此の細胞も受精することが出來ないではない、而して受精するとせざるとによつて出來て來る生物の性が異なるのである。例へば蜜蜂の如き、受精せざる卵は雄となり、受精したる卵は雌となるのである。此の意味に於て此の方法は完全なる生殖と稱することは出來ないのである、如何となれば受精せずには其の種族は滅亡するからである。所が或木虱の如きは、之れと正反對で、受精したる卵が雌となつて、ソレが生長するに從て同じ生殖方法を繰り返するのである。

右の五つの方法の外に、尙ほ澤山の方法が其の間に介在して居ると云ふことを想像することも出來ないではないが、兎に角前述の方法を一見して見れば、生殖

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の方法の單純なるものより漸次込み入つたるものに發展して居ることが明かである。而してラマークが云つた如く、斯かる下等なる生物に於ては、生殖なるものは單に其の生物が始めて創造された時の方法の繼續したるものに過ぎないことが明かである。卽ち生物界に於ける生命の始めも、保存も、繼續も、凡て一つの事實に過ぎないのである。凡ての異なつたる事柄は、ただ其の方法の巨細なる點にあるに過ぎないのである。

受精

生殖の目的は單に生命を繼續するにあるのである。個體をして其の生長すべき限度に達せしめ、規則通りの期間生存し、而して或期間に於て自分と同じ樣なる新しき個體になり、而かも其の數を成る丈け多く產出すと云ふことが、有機界に於ける天然自然の最初の目的である。前述の生殖の方法は其の數多しと云へども單に此等の目的を達するの手段に過ぎないのである。更に一歩進んだる目的を遂せんとすれば、他に新しき方法が必要になつて來るのである。卽ち右の生殖方法は單に數量を增す丈けの方法であつた、若し更に性質の上に於て尙ほ一步進まんとすれば、他の異なつたる生殖方法を用ゐなければならぬのである。其の方法たるや卽ち血統を交叉せしむる受精の方法である。

吾々が知つて居る生物は多くは手近かなる周圍の生物で、夫等は皆な雌雄若しくば男女の兩性に分れて居るので、生物界に性を有せざるものありとは、一寸吾吾の考へ及ばざることであるが、實を云へば生物界に於ては其の種族の殆んど過半は無性生物なのである。而して無性生殖も簡單より漸次複雜に進で居る如くに性のことも最も簡單なる狀態より今日の複雜なる狀態に進步し來つたものであつて、生物學上より云へば、性なるものは、生物界に活動を起し、變化を製出するものである。卽ち血筋を交叉混化することの爲めに、性の現出が必要になつて來たのである、之れが性のホントの意味である。性なるものは決して生殖作用夫れ自身でない、生殖によつて一般有機界により善き、又

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

より高き種族を起さしめん爲めに働くのが其の目的である。即ち生物界に於ける進化を助成することが性なるもの丶意味でもあり目的でもある。

異なりたる血筋を交叉することによつて、更に生氣を生じ、血液を新にすることが出來ると云ふことは、かねて認められて居るが、併し夫れはたゞ一つの事實として認められて居たに過ぎなくて、如何にして其の樣なる結果が起るかと云ふことは、一種の秘密として葬られて居たものである。植物學者グレーの言葉によれば二つの有機體の合することと、殊に誠に微細なる二つのものが、合する爲めに、如何樣に又何故に生氣を增すかと云ふことは、知り難く又想像し難いのである。併しながら之れが雌雄兩性によつて生殖を爲す眞實の意味でなければならぬ。ブルックス敎授も殆んど同樣なることを云つて居る、其他近世の生物學者の多數は皆な何れも同じ意味のことを云つて居る、其の中でヘルトウイング敎授が最も適當なる言葉を以て此の意味を明かにして居るのである。

受精と生殖とは同時に現はれた現象ではあるが、根本的に於て別に關係あるものではない。動植物界に於ける生殖の種類を正確に述べんとせば、舊來の雌雄性生殖とか或は無性生殖とか云ふ考へを全然放棄して左の通り云はなければならぬ。即ち總ての有機體は一般に細胞分裂より生ずる單細胞によつて其生殖を遂げらるゝのである。單細胞の有機體に於ては總ての細胞の分裂が即ち生殖行爲である、かくして他の獨立したる個體に生長す。多細胞有機體に於ては、細胞分裂の多數は多細胞個體を發生し而して其一少部分が生殖行爲を行ふのみである。受精と生殖とは相伴ふものである如何となれば有機體は二個の個體の核の接觸によりてのみ其最も完全なる發達を遂ぐるからである。然れども受精と生殖とは全然相異れるものである。

接合

さて二個の個體の合一することにより、生殖する凡ての狀態を、假りに合成生殖と稱する、而して凡ての

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

合成生殖には接合が必要である。單細胞生物では其の機體全體が關係し、多細胞生物に於ては單に其の細胞の一少部分が生殖の目的に用ゐらるゝのであるの、差があると云へども、兎に角二個の細胞が寄り集まつて新しき生物が出來るのは一である。

最初接合の事實が氣づかれた時分、又其後長くの間、二個の接合細胞が結合し、其の全體のものが單純に一個の新しき細胞に變化し、而かもソレが最初は同質のものであるが如く見え、其後に至り漸次變形して遂に胎子又は胚芽となるが如く見えた。此の狀態は營養攝收に似たるが故に、此等の細胞が互に他を呑食するが如くに説かれたのである。併し其後の研究によればモット複雜なものであつて、一個の核あり、營養分子を以て其の外皮と爲して居る、而して其の核が遺傳の分子を含み、其の外皮を吸收して生長するものであると今日は云はれて居るのである。今日は此の問題を多數の科學者が研究しつゝあるのだが、茲に之れを詳説するの必要を認めない。最も注意すべきことは、此の接合は變化を生せしむる爲めに、異なつたる遺傳性の分子の結合ではあるが、最初より「性」と稱すべきものは、此の結合する細胞にはない、最初に於ては「性」なるものは皆な同一であるか、或は性は最初は異なつて居ない。元より凡ての細胞に於ては多少の相違がなければならぬのであるが、此等の相違を適確に發見することは、今日の人智を以てしては出來ない。

此の相結合する二個の細胞中、一つを生殖細胞と稱し他を精子細胞と稱す、前者は後者に比し、普通ヤヽ、大きくして餘り活動せざるに反し、後者は前者に比し其の形ヤヽ、小にして活動的である。此の差違を雌雄性と云ふことが出來、此の二個の細胞が結合することは偶然の出來事とは思はれない、細胞夫れ自身に此の結合の働きを爲す何等かの意味がなければならぬのである。即ち男性細胞或は精子細胞は普通に其の形に於て小なれども自からをアチラコチラに運動せしむる機能を有して居る、女性細胞に近づき、而して自からを其の物體の中に浸入してしまう、此の接合が即ち兩性の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結合となるのである。

受精なるものは、其の同質の細胞の接合であるにしても、或は生殖細胞及び精子細胞の結合であるにしても、兎に角無性生殖の階段をへて漸次發達して來たもので、無性生殖より受精生殖まで發達するには、非常に長い期間を經過したものと思はるゝのである。

而して生物界に於て受精なるものは前述の如き生殖とは直接の關係がない卽ち元は受精せずとも生殖は出來たものではあるが、後に至り種族の改良を爲すの利益上、生殖を爲す前に受精を爲すの必要が起つて來たのである。此の事情よりして終に生殖には受精が必らず必要であると云ふことになつて來て、從て受精は生殖の働き中、最も肝要なるものであると云ふ樣に謬つた考を起すことにもなつて來たのである。（未完）

本論中雌性又は女性、雄性又は男性と其都度重れて云ふの煩を厭ひ單に女性又は男性の文字を用ひたるも、特別の場合を除くの外、兩性共人類は素より動物等一切の生物の性を稱するものにして、譬へば女性中心論の如きも、雌性又は女性中心論の意味にして男性中心論も雄性又は男性中心論の略字たるを承知ありたし。（譯者）

秋風十句

稻葉茂子

秋風や人形抱いて子なき人
秋風や下町に住みてせまき庭
磨きある釜の光や秋の風
秋風や歌思ひ居る窓の人
秋風の廣野を前の草家かな
秋風や乘合馬車の疲れ馬
汐木拾ふ漁家の子に吹く秋の風
秋風や細く立てる楢柱
秋風や馬上の人の旅姿
秋風や皆健かな草小家

同人諸姉え
出來秋や無沙汰をわふる小作人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋風樂

濱　萩

男の聲『僕は生涯獨身で暮す方がいゝのぢやないかと思つてゐる』
女の聲『なぜ?』
男の聲『まつはりになる者があつては世の爲に眞劍な戰ひが出來ない』
女の聲『そんな事はない』
男の聲『ありますよ』
女の聲『どふいふ方面からいつてもまつはりにならずに助けになり力になり働きが二倍になるやうならばいゝでせう?』
男の聲『それなら大變いゝがさういふ譯にはゆきませんよ』
女の聲『妻の人格と愛によつてはゆきますよ』
男の聲『それぢやさういふ人を探して早く結婚した方がいゝといふのですか?』
女の聲『さういつたのぢやないの』
男の聲『ぢやどういつたのです?』
女の聲『あなたの事業を自分の事業としあなたの使命を自分の使命として全く一つになつてやれる人ならまつはりにもなるまいと思ふの、精神的にひかれるといふのなら　それは又別だけれども……しかしそれだつて　思ひ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かたで大した事ぢやないかも知れない』
男の聲『しかしさう簡單なものでもないでせうよ』
女の聲『………』
男の聲『姉さん』
女の聲『え？』
男の聲『何の餘地もない程ひとつになる人が僕に來るでせうか』
女の聲『それは來るかも知れないぢやないの』
男の聲『それぢやあなたのいつもの說と矛盾する』
女の聲『どうして矛盾するの？』
男の聲『でも絕對の結ばりはいくつも出來るものではない、その直ぐ下はもう博い〱愛の海であるが最高の場所に置く對象は二者を許さないと姉さんは云つた』
女の聲『………』
男の聲『矛盾するぢやありませんか』
女の聲『矛盾しません。私の說は前の通り』
男の聲『それぢやあなたはどうなるのです？』
女の聲『どうもなりやしない』
男の聲『だつて………』
女の聲『だつて何？』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男の聲『だつてよう御座んすか二人が絶對に結ばつてゐてそこへどうして絶對に結ばる者が來る事が出來るのです
餘地がなければ如何して入るのです？』

女の聲『餘地がなければ入れないのです』

男の聲『それぢや餘地があるのですか？』

女の聲『ないと思つてゐる、ないと思つてゐるけれどもそれは分量によつて………』

男の聲『………僕にはよく意味がわからない』

女の聲『人には皆物を所有する分量があるの、一つの本をもつてゐる人はたしかに其本の所有主だけれど、その中の文章を熟讀玩味した人は持つてゐて讀まない人よりその本を本當の意味に於いてより多く所有してゐる、けれどまた其本をかいた著者は讀んだ人より一層多く其本を所有してゐる、わかつたでせう？』

男の聲『………それで？』

女の聲『それで或人がもし私より深い愛をもち、私より優れた能力をもち、私より優れた………すべてを持つてゐれば………』

男の聲『そんならさういふ人はないからとあなたは思つてゐるのですね？』

女の聲『それ程自信もないのよ克巳さん』

男の聲『それなら萬一あなたよりすべての點に於いて優れた人が出てくればあなたは………何ともないと云ふのですね？それでもう何もないのですね？』

女の聲『それは仕方がないぢやありませんか』

男の聲『仕方があれば如何するんです？』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女の聲『私は克巳さんの幸福を望むより外に何も求める處はないの』
男の聲『………』
女の聲『私ね克巳さん、世の中の人が自分の愛する者は必ず不幸にしなければ置けないといふ情けない愛しかたしか出來ないのが悲しくてたまらないの、それぢや愛するといふより憎むのと少しもちがひはしない』
男の聲『それは成程さうにちがひない………けれどそれは理窟だ、さうわかつてゐてさうゆかない處に何かありはしないのかしら？』
女の聲『あるかも知れない、けれどあれば——あるのがまちがひで、あるうちはまだ本當の愛とはいへない』
男の聲『あゝそれは冷い、あまり冷い愛だ』
女の聲『けれどもね克巳さん、最早其處までゆけば自意識を超越した力なのだから生命なのだから人間には如何する事も出來ないのよ——必然の事が成るばかりですよ』
男の聲『それはさうだ』
女の聲『それではじめて私はすべてを所有するの』
男の聲『何時姉さんはそんなに考へたの、もうずつと前に？それとも此ごろ？』
女の聲『そんな事きかなくてもいゝのよ』
男の聲『しかし苦しい愛ですね』
女の聲『苦しくてもそれが樂しい愛なのよ』
男の聲『樂しくても恐ろしい樣な愛ですね』
女の聲『恐ろしい處までゆかなくては——すべての事受け身になるのは本當に恐ろしいから………』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男の聲『それで姉さんはそんなに徹底するまで考へてしまつたのですか？』

女の聲『…………あとは豫定の影が來て無意味に過ぎてゆくばかりよ』

男の聲『それでは萬一姉さんに絶對に一つになる人が分量のより多い人があとから來たら？』

女の聲『私は最早――是から結婚する事はないわ』

『抱月夫人に與ふる書』について　文子

先月中旬『日々新聞』に抱月夫人の家出と云ふ記事がありました。數日の後には又、夫人の談話として『從來の家が氣に入らなかつたから移轉したのだ』とか、流石夫婦の愛情に引かされてか『抱月氏は極無口な善い人だけれど須磨子は中々の婦人で』と云つた樣な口吻が書かれて居ました。私は新聞などの記事は誤りが多いのですから、夫れを其の儘、信じて別項の『抱月夫人に與ふる書』を書いたのではない。ずつと以前須磨子を論じた時から、夫人に對しても深く考へて居たからで、現今の日本の社會では、斯かる例は島村氏丈けではなく、外にも尠なからずある事であります、で私は單に個人としての抱月夫人にのみ云ふのではなく、一般に斯やうな位置に現在ある婦人には、もとより云ふまでもない、よき參考になり、さもない婦人でも身をかう云ふ場合に置いて考へて見る事は、興味深い事だと思ふからです。本論にもつと〳〵詳細に論じたいと思ひながら、頁の都合で切り上げておきましたが、こゝに餘白が出來ましたから、一寸書き添へる事にしました。

若し新聞にかいてあつた如く、夫はいい人だけれど相手の女が妖婦であると云ふのならば、又夫は兎に角、夫人の心にどうしても夫を忘れる事が出來ぬと云ふのならば、西洋にはよく有るやうに、愛の爲めには生命を賭し、血を流しても相手の婦人と決闘するがいいと思ひます。もつと〳〵以前からそれ丈けの決心は必要であります。然し決闘をして勝つて見た處で、肝心の夫の心が空虚であつて見れば、是れ又何としても捕らへやうのない事で所詮甲斐がさりません。其の時には一層潔く破れ足袋でも捨てるやう樣に打捨てゝ、自からは速かに新らしい生活に入る事が尤も得策であると思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我國の婦人運動に就いて

坂本正雄

一

十月一日發行の雜誌『雄辯』誌上に於て、西川文子夫人は『近ごろ一般に文弱きはまると評せられつゝある青年男子と雖も、尚且粗暴空漠なる論議を上下して空威張をするやうな所謂豪傑風の男子よりはましである』と云ふ意味の意見を發表されてあるのを見て、私は方今の新婦人が男子に對する態度、要求、感情の一變せること斯の如きかと感ずると同時、此の一婦人の言は啻に女性の男性觀たるにとゞまらず、我々男子の自ら省みるべくして而も氣付き得ざる一個の缺陷に對して痛烈なる指摘を與へたるものであると考へた。

世に立て徒らに自ら先覺者呼りをする所謂先覺者も、亂世や乃至德川時代の比較的卓出した人物の言行を摸倣するに汲々たる有樣で、實際二十世紀の天地に處して如何ばかり徹底した眞の自覺者が其の中に居るかと云ふことは實際疑問である。其の精神は常に傳奇的な夢のやうな信仰の渦中に彷徨として居る。其の核心の實質は全く空虛であるから、マサカの場合に方つて非常に脆く且つ弱い、かゝる徒輩が大言壯語することは、如何にも識者の見て以て笑止な譯であらう。況んや玆に自覺したる婦人の一團があつて、此等男子が『大切なるもの』を忘却して無暗に第二義的なる空騷ぎをやつて居る處を視ては、まことに面を掩はざるを得ないのであらう。吾人は自ら省みて愧ぢざるを得ない。

二

青年にして其精神生活に自覺したる者は、或は自我の擴張を主張し、生活の徹底を叫び、或は省察、觀照、抉謫、苦闘と、いろ〳〵に努力しつゝある。又た

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其社會的國家的に自覺したる者は、先づ日本に於ては第一に選擧權擴張を叫ぶであらう。閥族の專權、官僚の弊風、何れも彼等の堪得ざる處であるに相違ない。然るに彼等は將して『其の一切の本』に還りて在るや是れ頗る疑なきを得ざるところである。彼等は餘りに我儘である。自己生活の充實をのみ計つて、些も他に對する同情がない。青年に被選擧權を得んとするが如き、今日の社會に在ては實に大なる波瀾であるかも知れない。併し乍ら善の爲には現狀打破をしなくてはならない。婦人に人としての權利を與ふる——否實に恢復と云ふ可きであらう——事も亦、在來の久しき習慣に徹して成し難きことではあつても之を斷行しなくてはなるまい。私は女子に直接參政權を與ふるの可否を今茲に論ずるのではないが、女子の人格を正當に認むると云ふことは、恐らく男子——今日既に選擧權をも有せるところの男子の、其の選擧權を擴張するよりも、より大なる急務であることを信じて疑はない。

かく言へばとて私は一般女性に對して、よく男子としての義を爲し得たかと云ふに決して然らず。たゞ婦人も人間なる以上、決して男子と地位の上下あるべきにあらざることを纔かに自覺認識したるに過ぎないのである。婦人の人格を尊重し、之に對して舊來の陋習を破つて精神的に絕對對等の交を持續したく希念するに過ぎないのである。たゞ我等男子は、因習の久しき、今日漸く婦人に對する觀察及び思想の更革せるありと雖も、依然として男子特有なる野性、粗大、誤謬、無省察の種々相を暴露することを禁め得ない。自己の尊敬せる夫人の前に於て、ふと肉體の異狀を感知する場合なきにあらず、これ實に祖先よりして繼承せる習慣的本能、また敎養の足らざるより來るところの或る感情との所業に相違ない、更にまた吾々は或る刹那の瞬間に於て、性の壓迫發作に遭て之が爲に復た思はざる侮辱を自己及び女性に對して遂ぐる場合が一生を通じて幾度あるか知れないと云ふことを告白せざる可らざるを哀しむのである。私は自分に修養が足りないから、心でよく婦人の現狀及び要求を理解して、而して我々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男子は此の義の爲には殉せなければならぬとさへ考ふる事ある身であり乍ら、悲い哉如上の如き内狀を少數識者に承知して居つて貰はなければならぬと考へる。たゞ婦人に對する根本の考へと云ふものは、既述の如く明々白に洗禮を受けて居ると云ふの自信はある。乃ち此の主義運動の爲には僅に私は雜兵の一人であることを覺つて、出來得るだけの努力をなし、以て不測の缺陷をば濟充しつゝ行かんと欲する者である。

三

男子の婦人に對する態度は以上の如きものであつて、固より婦人の未だ甚だ滿足せざるところであるに相違ない。併し右は私の一家言であるから、更らに私らよりもより寛大、讓步的なる、理解に富んだ眞理に接近せる考を把持せる男子のあることを信ずるのである。

さり乍ら茲に考慮しなければならぬのは、可成婦人側の要求を過大ならしめて無暗に其の權利擴張に努むることが之れ果して眞個の意味に於て婦人の爲め將た又男子の爲め人類の爲めであるか、どうかと云ふことである。茅原華山氏の如きは『婦人の自覺は則ち男子の屈辱である、婦人が其の人格を認めらるゝに至り、其の地步を一寸でも多く有するやうになれば、これ男子の領土を侵害するもので結局男子の損である。故に婦人運動は男子に戰を挑む者で、とりもなほさず男女の戰鬪である』と云つて居らるゝのであるが、私の考は之と全然反對である。

若しも婦人の地位が向上せしが爲に、男子の地位が下落したり、男子の持て居るものが失はれると云ふやうな事實が、萬一ありとするならば、眞に其一事を以て判ずるも、在來男子が、餘計に人類としての幸福を壟斷し來つたと云ふ事實を明證するものであると思ふ。婦人運動の必要は彌々痛切に起らざるを得ない。併し乍ら又、眞正の婦人運動と云ふものは決して男女の戰ひでないのは申す迄もなく、男女共に其福祉を來す所以であることは論を俟たざる次第で、新婦人及び男子の、相ともに最も了解して居なくてはならぬ要點である。然るに折々新らしい女の中の人々が男子を根本的に咀ふが如き口調を洩したり、婦人は男子以上の者で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あるなどと超越して見たり、また事實を曲げて迄此等一部婦人の説に附和雷同する男子の存するなどの事は、甚だ悲むべき現象であると謂ざるを得ない。婦人運動が眞個に正當なる運動であつて、之が啻に女といはず、男と云はず、人の向上に於て資する運動であるならば、期せずして其努力は識者の義とする處となるべく、何も徒らに喧騒するの要を認めないのである。

四

是故に所謂る婦人問題（私をしていはしむれば婦人對男子問題）なるもの丶勃發せる今日に在ては、男子よりも更に一段の自省、注意、謙抑、及び努力を以て婦人は徐ろに歩まなければならぬと思ふ、私は此の意味に於て我國の婦人運動が、西洋のそれと、其の周圍の事情に於て、抑も幾何の類似點あり幾何の徑庭あるかを十分に考察するの要あることを思ふ。未だ我國の社會に於て痛切に要求して居らぬ事物、現象に對し、直ちに歐米の趨向を摸倣して一々之を輸入し、移植するに於ては全く玆に社會的病毒を輸入すると云ふやうな非常なる悲慘事を演出しないとも限らないのである。眼が悪くもないのに眼鏡をかけて居る人ほど悲慘なる輕薄、また滑稽の絶好コンデンスなるはなきと一般、無用の思想を飜譯祖述し、氣まぐれに不急の運動を起して平地に波瀾を生ぜしむる程の不心得者はあるまい。

我國の婦人運動は大に之と其趣を異にして、時運の生みし正當なる運動で、其の論旨は實に少數自覺者の衷情の聲である。然るにも拘はらず此の有意義なる婦人運動を以て、啻に不急の無用なる運動、泰西思潮の摸倣、一種の職業としての叫喚と見做しつ丶ある所謂る識者の存在することは、實に吾人慨嘆に堪ざる次第である。が婦人自身に於ても、特に十分の反省、警戒、研究、考察、説明、努力の要あり、尙ほ之を爲すの餘地も亦存することを感ずるのである。

頃者、新眞婦人社より高野重三氏の『婦人問題早わかり』を贈られて、一讀大に得る處あると共に、一言私の信ずる處を告白し度く考へて、た丶要點を玆に記した次第である。（十月八日）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

〔婦人の淑德〕

疾病又は煩悶の時
座右の持藥
中將湯を常に服し

婦人には何より禁物の「不愉快の顏」を
夫を初め家内一同に見せじと努むる事
之れ、婦人德育の始なり

醫學博士諸大家の證明せらるゝ世界唯一の婦人良藥

中將湯は子宮血の道より起る左の諸症を全治す

●子宮病 ●內膜炎
●こしけ ●白血長血
●難產流產 ●下腹痛み
●胸先差込 ●足腰冷込
●引つれ痛 ●血の道
●逆上頭痛 ●癇高ぶり
●氣ふさぎ ●夜眠れず
●產前產後 ●月經不順
●月經痛み ●月經滯り

定價

四日分	三十五錢
一週間分	六十錢
二週間分	壹圓拾錢
三週間分	壹圓六拾錢
五週間分	貳圓五拾錢

本舖

東京日本橋通四丁目
津村順天堂本店
振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店
振替口座四五六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□本月中の一ヶ年講讀申込者に限り壹圓に割引く□

大好評

國民精神

見ずや大和民族の赤き精神

■對獨宣戰詔勅御發布の日を以て創刊を宣言し青島總包圍の日に第一號を發行し皇軍の行動の進境と等しく發展しつゝある本誌を一讀せずや！

■本誌は戰時の國民に向つて喉を痛め聲を枯らして絶叫しつゝあり其の憂國的警告を耳にして六千五百萬の兄弟姉妹は奮然として起つべき也。

一部金十二錢　送料一錢
半年分送料共金七十錢
一年分送料共一圓三十錢
本誌代は總て前金の事

（毎月一日發行）

佛教界に於ける唯一の特色ある月刊雜誌『國民精神』が戰時國民に警告するの言を聽け！

發行所　東京麻布宮村町六三　振替東京二八八三三　三九洞

社會政策及勞働問題に心ある人は讀め

勞働及産業

一冊金十二錢
半年分七十錢

第一號

友愛會々員は
毎號無代進呈

◎勞働者に代りて天下に訴ふ……友愛會長 法學士 鈴木文治

□勞働の尊重と國家の富源……法學博士 本會顧問 添田壽一

□歐洲戰爭と勞働運動……法學博士 本會評議員 堀江歸一

□天下の者皆勞働者なり……早大教授 本會評議員 内ヶ崎作三郎

□米國勞働の美點……東京電氣 川崎主任 伊藤二三

□勞働組合と一般社會……東京毎日 新聞記者 古川仲太郎

●何？友愛會とは？

友愛會とは勞働者の團體で、勞働者これが正會員となり（會費月十錢）研究家これが贊助會員たり、（會費月廿錢）

□勞働功程論……技師 神田孝一

□最近勞働界記録……本誌記者

□機械の話……技師 林一男

□職工妻女の内職……工業教育會 宇野利衛門

□少年裁判所の話……法學士 高田愼吾

○小説 山の家……吉田絃次郎

○法律問答（質問自由）

○友愛會記事

○自由文壇

○特別懸賞文募集

◎英國に於る勞働黨の運動……友愛會顧問 法學博士 桑田熊藏

發行所 東京市芝區三田四國町 友愛會本部 振替東京三一五七

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萬病皮膚藥

ホシチオール

▲全世界に行はるゝ數萬の賣藥中其用途最も廣く且奏効神の如しと稱せらるゝもの**ホシチオール**を措いて他に求むる事は出來ぬ

▲**ホシチオール**は切、火、咬傷其他の諸傷及諸疼痛、肩の凝り、リウマチス等五十有餘の疾患に驚くべき殊効を奏する濃厚褐色の皮膚塗劑である

▲殊に**溫浴用ホシチオール**を風呂に入れて入浴すれば神經痛、子宮病、リウマチス其他疼痛の伴ふ疾患及皮膚病一切に卓効を有する

▲斯の如く**ホシチオール**は其用途と奏効との二點に於て今や全世界に於ける家庭常備藥たらんとして居る各家庭は是非常備せねばならぬ

全國特約店にあり

定價 十錢。二十錢。五十錢。一圓

溫浴用ホシチオール
小一圓六十錢(一人風呂一ヶ月使用量)
大三圓(同貳ヶ月使用量)

資本金百萬圓

東京京橋區南傳馬町三丁目

星製藥株式會社

電話京橋特一七八五番
振替東京貳〇五貳貳番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鹿兒島の女

久留天豪

■二種の性格

鹿兒島の女には、相反せる二種の性格がある。其の一つは、勤勉性で、彼等は孜々として男子も遙かに及ばない樣な、目醒しい活動を續けて居る。これに反して今一つの性格と云ふのは、常に遊惰して唯化粧をし、美衣を着飾る事にのみ腐心して居るといふ、斯くの如き相反せる性格がある。而して前者の方は主として下流社會に多く見受けられるもので、時には夫よりも莫大な收入を得て歸る者もあるさうである。卽ち彼等は、男でも最も强健な身體を要する人夫等になり、男と立ち交つて働いて居る。其他呼賣りや仲仕等他所では見られぬ勞働を平氣でやつてのけて居る。次に後者の方は主として、中流社會の者に多く、彼等は二六時中粉飾に浮身を窶して、一人得意がつて居るのだ。吾々が鹿兒島へ行つて最も奇妙に感ずるのは、八百屋店とか、農作品店の如き、是非共無ければならぬ店屋が無くつて、却つて化粧品小間物店其他一般贅澤品屋が馬鹿に大いのに驚ろかされるのである。而して此れ等の店が孰れも淪胥もせずに繁榮して行けるのは、全くこれ等の婦人連が多いといふ有力な證左だと思ふ。

■女の多い國

鹿兒島は男子の數よりも、女子の數の方が多い。四十三年末の統計に依ると

	本籍人口	現住人口
男	六七〇、六四六	六四九、〇七一
女	六七四、五三三	六七二、一六一

といふ數字を示して居る。殊に縣下の揖宿郡では男三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五、八五二に對する、女三九、五五八、又日置郡では男六一、五五〇に對する、女六八、〇八八といふ驚ろくべき相違を示して居る。

だから從て各郡市共に男子の無配偶者よりも女子の無配偶者の方が多い。即ち市では、男二二、五二八に對する、女二二、五六五の無配偶者あり、又姶良郡の如きは、男四六、五二八に對する、女四八、五七五といふ多數の無配偶者がある。人は鹿兒島を稱して女護島といふがこれ等の數から見ると、或は爾う云へるかも知れぬ。かくの如きは寔に悲しむべき現象と謂はねばならぬ。

■淫卑な國

凡そ、國の道德風俗の亂れるのは、其原因種々あるであらうが、男女の數が違ふといふのも、根本に横はる主要の原因の一つである。即ち男女何れか一方が多ければ、こゝに多數の無配偶者を生じ、これ等が善良の風俗を破壞し、茲に忌むべき淫卑の風俗を釀成せしむるのである。此の點に於て男女の數が相平均して居るといふ事は重要事と謂はねばならぬ。

然るに鹿兒島は、前述の如く女の數が男に比して非常に多い。此に於てか風俗は勢ひ亂れざるを得ない。而して其の實證ともいふべきは他國に比して私生兒の數が多い事、即ちこれである。今縣下の出產數を見るに四三、六九八である。其の内

公生兒　三八、五九四
私生兒　五、一〇四

といふ多數に上つて居る。殊に出水郡の如きは、公生兒一九七〇に對する、私生兒四七六といふ樣な有樣である。此れ等は風致上由々しき事と謂はねばならぬ。吾人は當局者が何等かの方策を廻らして、以て此の風俗を亂す根本原因たる男女の數の相違を驅除せん事を希ふ者である。

■離婚の國

風俗の亂れて居るといふ事は、結婚の方にも影響を與へる。これも統計の示す處に依ると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

	婚姻	離婚
件數	七四七	八四
人口千ニ付	一二人	一三人

而して彼等は離婚なんか、何んとも思つて居ない。一度で治まれば却て不思議があるといふ有樣である。或人の話に依ると八人妻を代へた人があるさうだが、如何に無配偶に苦しんで居るとはいへ、私には七人目や八人目に來る女の考へが分らぬ。又腹異の子を二十三人も持つて居る人もあるさうだ。

次に鹿兒島の女は一體に子供が多い。これは暖國といふ加減かも知れぬが、兎に角子福者が多いといふのは事實だ。一軒五人として勘定するのが普通であるが、今和泉郡の如きは一軒平均七、二人といふ大家族である。子供を得ない人が鹿兒島へ來て、儲けたといふ話は屢々聞かされる。

■意氣地の無い女

殖民地の女が幅が利き、又概して威張つて居るのは、男子が多くて女子が鮮いからである。然るに鹿兒島では女の方がズッと多い。だから或は其の關係からか知らぬが、女は男よりも一般に怜悧で又一倍よく働く癖に、いたつて意氣地が無い。唯、男の歡心を得れば夫れで宜いといふ樣な卑しい態度が見える。私は八月號の『現代』誌上に此麼事を書いて置いた。

『鹿兒島の女は斯くの如く、男以上によく働き、又其の數が男子よりも多いといふ事實は、確かに參政權を要求するに好個の理由口實となると思ひます。然し、未だ此の地の女が、爾く自覺せず、奴隷的境遇に甘んじて居るのは、無智無能なる我が國男子の望外の幸福といふべきでせう。若し後年我が國に參政權運動の起るあらば、鹿兒島の女は、正に奮然立ちて當局に迫るべきです』

其の他、結婚の風習等には隨分奇拔なのもあるが、茲では今春大爆發をした櫻島の方では恰んど自由結婚が行はれ、即ち男女共に相思した上、始めて兩親の許可を得て結婚するといふ、極めて文明的、進歩的の風習ある一事を叙べて擱筆する。(終り)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外婦人消息

中尾清太郎

内容

ガリチャン夫人の事――ワッヂントン夫人の事――バークレー夫人の近作及び著書目錄――英國國歌は佛國聖詠の反譯――オニオンス君の諷刺小説と女權論者の皮肉――シュットネル夫人の遺著――ホワートン夫人の批評家攻擊。

ヲルター・エム・ガリチャン夫人の『原始社會に於ける婦人の位置』と云ふ本が出來た。夫人の名はシー・ガスクオイン・ハートレー女史としての方が知られてゐる。嚢の『ツルース・アバウト・ウーマン』も評判を取つた作であつた。殊に夫人はスペイン通で、美術通を兼ねてゐるので、スペインに關する著だの、『エル・グレゴ』のやうな得意のものがある。今度の新版の内容を言ふと、第一篇が『原始的家族』第二篇が『母時代の文明』で、全篇興味を以て讀まれる書である。

＊　＊　＊　＊　＊

メリー・キング・ワッヂントン夫人の『フランス婦人としての私の最初の年間』(一八七六―七九年)も、何かの雜誌に久しく續いてゐたのを覺えてゐるが、此頃一冊に纒められて、米のスクリブナー社から出た。フランスの外交社會などの内幕を知るには事實を書いたものであるから確かな本だ。夫人には『外交家の妻の手簡』『外交家の妻のイタリ便』などもある。彼女の夫は御存じの通り米國派遣の公使として獨、佛、伊に駐まつてゐたことがあるのだ。

＊　＊　＊　＊　＊

戰爭の影響で、此秋は新しい小説の出版がすくない。こんな時分に出來るのは、い丶小説だとするなら、ブツトナム社が此程出したフロレンス・エル・バークレー夫人の『ヲール・オヴ・パーチション』は、戰爭前から出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る筈になつてゐたにしろ、一廉の物でなけばならない理由がつく。作中の主人公は評判の小說家であつて、それが女主人公と結婚するまでに到らずして喧嘩して別かれる。それから十年經つて、互に相逢ふ。其互に相逢ふのが電話で話をして識るのだから奇拔だ。筋は例の通り單純なものだ。一體此夫人の小說は、あつさりした毒氣のないものが多い。日本では五六年前頃から、最も親しいものとなつて、『ロザリー』などは、よく賣れたものだ。試みに彼女の著作を最近の分まで順を追うて書いてみようなら——

"Wheels of Times."
"Rosary."
"A Dead of The Blue Roses."
"Following of The Star."
"Broken Halo."
"The Wall af Partition."
—By Florence L. Barcley.

* * * * *

イギリスの國歌の『ゴッド・セーヴ・ザ・キング』

は、一六六七年ジエームス王第一世の爲めに、ジョン・ブル博士に依つて作られたと云ふのが普通一般の說だ。それだから初行の句、『ゴッド・セーヴ・アワア・グレーシアス・キング』も、元は『ゴッド・セーヴ・グレート・ジエームス・アワア・キング』となつてゐたと云ふのだが、そんな話は每度聞いた事として、近頃ヨーロッパの戰爭で英、佛、露は大層仲が好くなつたものだから、イギリスの國歌は起源をフランスに持つとイギリス人側から言ひ出して來た。それは、ルイ第十四世が St. Cyr の禮拜堂に入られた時、唱歌隊の娘達が奉答した歌の殆ど直譯であると云ふのだ。その歌の詞は M. de Brinon が作り、樂は有名な Lully がものしたとある。成る程讀み比べてみると、歌の意味も組立も、そつくり其儘の所がある。(但しイギリスの國歌は略する。)

Grand Dieu, Sauve le Roi!
Grand Dieu, Veoge le Roi!
Vive le Roi!
Que Toujours Glorieux,
Louis Victorieux!

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Voye ses Ennemies
Toujours Soumis!
Grand Dieu, Sauve le Roi!
Grand Dieu, Venge le Roi!
Vive le Roi!

* * * * *

オリヴアー・オニオンス君は、今日世界のいろいろと名のつくイズムだの、理想だのと云ふもの丶中でも、Fの頭字で始まるものが、最も嫌だと言ふ。それは『フエミニズム』(婦人本位)、『フユーチユリズム』(未來主義)、そして『フリー・ラヴ』(自由戀愛)だと。此諷刺家の『灰色の青春』と題する小說が、『二つのキス』『曲つたマイル』の二冊となつて、英のドーラン社から出た。コンモ・プラットと云ふ美術好きの男がある。女はアモリー・タワースと云つて、婦人運動に猛進する或る繪を描いて評判になつたところから、若い二人は戀に落ちる。奇代な近代的の依怙地は、二人をして『性』の衝動や本能を壓へ着けさせる。然ししまひに『自然』が勝関を揚げて、彼等は『因襲』に從つて結婚する。そしてアモリーが双生兒を生む。二人は若い婦人本位論者や、未來主義者や、其他のイスト連に取り捲かれて、非常軌な沙汰を演ずるので、ますます作者得意の皮肉の腕を揮はせることになつてゐる。この作者の名はオニオン(球葱)だから、皮肉を浴びせられた婦人本位論者達は、オニオンを薄截にして鹽と酢とを糝けて喰べてやりたいと言つてるさうな。

* * * * *

シユツトネル夫人の事は、新眞婦人が第二卷になつてからも、二度まで出るが、これは三度め丈に前二回より新しい事であらう。丁度Bettina von Suttner 男爵夫人の小說 "When Thoughts Will Soar" が、ホウトン・ミフリン會社から出版された時は、彼女の死の前僅に二三日の事であつた。其時が又不思議にも、恐ろしい國際干繫の破裂した時で、此平和運動に寄與しようとした贈物は、一種のアイロニイとなつてしまつた。男爵夫人は、平和主義と最も縁の深い米國大富豪が、毎年ルーセルンの市で『薔薇の祭』をやると、そこへ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界の大政治家、新聞記者、科學者達が平和の設定を祝し、無戰爭の人類の未來を慮る爲めに集まつて來る。其時婦人本位の議論は、人道と多數の活ける偉人(ルーズヱルト前大統領のやうな)とから認められることになる。と云ふやうな節がある。

* * * * *

近來英米の文學批評は、とんと振はない。"Ethan Frome"や、"The Reef"の著者として名高い、エヂス・ホワートン夫人は、文學の批評と云ふものも、實際英米に存在しないことを極言して、其中に——凡そ藝術を評價するには、先づ尋ねてみなければならない問題が三つある。『作者は何を表現しようとしたか。』『彼はどんなに成功したか。』『彼が選んだ題材は表現するに價ひしたものだつたか。』これ丈にうまく合格すれば、其小說の審美的價値は定められると。そして其小說の形式や組立に目を配るもいゝが、作者の深い用意や、內容の不朽と美そんなことをも見逃してはならないと。彼女はロシヤの小說家、殊にトルストイをえらいとしてゐる。

前號追加　パンカースト家の人名を列れた中で、夫人の名を落したが、あそこへは、Emmeline と入れて置きたい。

宗敎叢書

『從來の宗敎書類は概して敎訓的に傾き、若しくば學究的に偏し過ぎてゐた、其結果特殊の信者や專門の學者には好都合であつたが、一般の讀書界には難解で緣遠いものであつた……然かるに最近社會の變遷と、知識欲の進步は各方面に開展して宗敎上にも平明な解釋と新らしい說明を要求するに至つた』といふ考へから、今回安藤枯山氏は宗敎叢書の發刊を企てられ、既に

宗敎入門　江部綱村著
神道綱要　西川光次郎著
シヤクンタラ姫　森田草平編

などが出ました、以下續々五十編まで發行する豫定であると聞く(定價十錢、總六號百頁、東京神田佐久間町四の廿三日月社發行)

大阪の奧樣振

在阪婦人記者より寄せられた同文は、紙面の都合で次號へ廻はしました、次號には其の第一、吉澤李枝子夫人を掲載します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○動搖の心もて。

みをつくし

今度顯はれる船の形を望みなき、
目もて水平線を見つむる我かも。
風邪(かぜ)ひき烏(からす)の様に嗄(しわが)れた聲を出し、
どなればなかし赤く飛び行く。
我は日毎に泥の地面(じべた)を匍ひまはろ、
氣ちがひ犬の生をたのしむ。

ノートル、ダムの上から怪獸がおりて來て、
街(まち)をノソノソと歩行く銀座の夜。
氣ちがひの、赤い毒々しいカフエ、ライオンの、
二階に赤い火の車がまわろ。
朝と夕と違つた氣分に生きて行く、
日まはりの花の羨やましき哉。
つきつめた所まで行かなきやならぬ我、
青い焔(ひ)が燃え暗い窟(あな)が冷たい。
今に見ろ、こんな壓迫なんて何でもない、
進むんだ進むんだ、前へ前へと。
欧羅巴で赤い血が流れ銀の甲(かぶと)が光ろ、
破壞だ、戰へ、暗へ走れ！

文明の假面をぬいで戰へ、戰爭は、
一生懸命の仕事だ、敗けろな、
そして平和へ進むのだ。
ほんにまあ、なんてお前は氣まぐれだらう、
世界は今大戰爭なんだのに！
地球上に、大きな戰があろのも知らで、
氣まぐれな櫻の返へり咲かな。
ポカポカとした陽氣にお前は戸迷つたれ、
未(ま)だ早いのだよ、早いのだよ櫻の爺に。
戰は自由へ、戰は平和へ、さうだ、
行く所まで行かなきならぬ。
男子は戰爭の道具だ平和の破壞者だ、
運轉手だつて女で出來ろのだ。
戰爭だ火災だ洪水だ爆烈彈だ。
ノアの舟はないか、舟はないか。

一九一四、九、二〇、

○戰　爭。

いよいよ其日が來た。
天のお宮(みや)の屋根の上に、
飛ぶ赤蜻蛉(あかとんぼ)の羽根の光り。
秋の氣は澄み渡つて居ろ。
そこには靜かな平和(へいわ)がある。
地上では小さな一片のパンの爭(あらそひ)から、
人間と人間とが互に肉(にく)を食ひ、
互に血をすすり互に切り合ふ、
互に人間を殺し合つて居ろ。
殺し合つて居ろのだ、
赤い肉が裂ける、
黑い血が流れろ、
骨がポキリと折れて骨髓が流れろ。
恐ろしいその日が來たのだ。
古い一切(さい)は滅びうせよ、
そして新らしい時代は芽生え、
成長を初めろのだ。
スラヴもゲルマンも銃を握れ、
アリヤンもニイグロオも劍をとれ、
文明の假面をスツカリぬいで、
一生懸命の爲事(しごと)にかかれ。
敗(ま)けろな、生を賭しての爲事だ。
新らしい平和と文明との前には、
古い一切(さい)は滅びなければならぬ。
平和の前の戰だ、
安心して一生懸命に戰へ、
平和への歩み――戰爭だ、
破壞だ、そして創造だ。
新らしい生命の生れろ前に、
當然來ろべき破壞だ。
創造だ――戰へ！
平和だ――戰へ！

一九一四、一〇、一三、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

筆のしづく

茶ばなし

玉露女

若い女曰く「小學校時代の生徒は可愛いが、中學生は嫌だと思ひます、電車の中や途上の往き違ひに Oh! Shine なんてねエ……」年上の女答へて、

「小學生徒は義經だとか楠正成だとかを話題にしますものねエ、中學生は、君何所で何を食べたが美味かつた、なぞと云ふ事が多いのですのにへエそんなに冷やかしたりしますかねエお生さんですこと」

若い女曰く

「それが高等學校となると少こし面眞目にして居ますよ」

年上の女

「其頃の人達の方が却て寄るとさはると美人話をしますがねエ、それでも表面眞面目にして見せるのでせう」

若い女

「大學になると見せる事をよして構はず又私達を眺めますよ」

年上の女

「やがて奥様を迎へる準備でせう、新學士となると細君選擇論が盛になります」

若い女

「新學士、新婚の人、らしい方々は宜いけれど少し經た方々は何だか私達を見て御自分の奥さんと比較して入らつしやるやうですよ」

年上の女

「其時代の人が集まると細君論ばかりします」

若い女

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「それから又少しして落付きますね」
年上の女
「子供が出來るからです、話して御覧なさい、子供の噂ばかりなさるから」
若い女
「其後世間慣れて來た紳士はまた嫌ですね」
年上の女
「世の中の汚れに染んで來たのでせう、所謂世磨れるのです、お話は例のがお定まり……」
若い女
「やがて少し地位も出來、家庭も整つて來ると又よくなりますね」
年上の女
「其樣なると、家の問題です、家が欲しい理想の建築がしたい、つてね」
若い女
「今度は又嫌な番です、某氏某氏等の樣な初老時代の將」

年上の女
「自由が利いて來るからです、社會はそれに制裁を加へる事をしないのです、却てそれに媚びるからいけない、お妾を置いて居ながら若い人間に道德を說く時代です」
若い女
「もう推しも押されもせぬ尊敬が出るのが其次の男ですね」
年上の女
「人世の事業半ば成つて心安んずる時、體が弱ります、よく病氣の話をして居られますよ」
若い女
「其後は私達を子供扱ひにしますよ、女子供には分るまい、つて云ふ樣な風にね、『鳥の兩翼の如く車の兩輪の如しつて事が分るかね？どう云ふ意味だか知つてるか？』なんてね返事も出ませんわ」
年上の女
「そろ〳〵叱言の出る頃です、公にも私にもあゝでは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

如何んかうでは成らぬと苦々し氣にね」
若い女
「それを過ぎて眞に尊い時代が來るのですね、白髯長く童顏の老人!、私好きですの」
年上の女
「もうそれでお終ひです、あとは死の問題です」
若い女
「其時代の話は信仰ですか」
年上の女
「墓場の話ぢやありませんよオホヽヽヽヽ」
若い女
「其次は銅像の話!!オホヽヽヽヽ」
年上の女
「貴女の好きと嫌ひは棒縞の樣に變る〳〵ですのね」。
若い女
「でも一人の人が追々其樣になつて行くのを其度毎に好いたり嫌つたりは致しませんよ」
年上の女
「それは當り前ですわ、學校を落第したからつて急に馬鹿だと思つたり、博士になつたからつて急に尊敬する事の出來ないやうなもので好きな人はどんな事が有つても好き、嫌ひな人はどうしても嫌ですものねエ」
若い女
「矛盾しましたねエ何だか」
年上の女
「お話が變に判らなくなつてしまひましたねエ」
若い女
「ホヽヽヽヽヽ」
年上の女
「ホヽヽヽヽヽ」。　(終)

露營の露

川水に映る新月眉若く
　蕾の花の笑かたき
　　墨田堤をさまよひて
露に匂へるすみれ草
　摘みてとりける彼の夕
　　平和の夢にあくがれて
　　　都の春に醉ひにしが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月満ち缺けて今我は
異國の野に鉾取る身
戎衣の袖におく露も
血潮に染むか冷やかに
草原てらす弦月の
利鎌の光澄み渡る

今朝の戰に我友は
妹よりの玉章を
開く間無くて持ち居しが
臨終の際に取り出でて
我に渡しつ「故郷に
便り頼む」と只一言
汚れし彈の傷深く
惜しき益良夫息絶えき

今其文を開け見れば
こぼるゝ露に誘はれて
微笑み散りし櫻幾片
「殊勝ならずや兄君」と
認して添へつ其末に
「勳章下げてお歸りの
夢を見たり」と喜べるよ

かをれる雪と潔よく
水の面に散る花の
流るゝ末を知らぬごと
明日の我身は知ねども

平和の敵友のあだと
恨を呑みて一すぢに
待たるゝものは只敵軍
いでや敵に向いなば
彈丸雨と降る中も
落花の下と何の差ぞ

神州の武夫只死を知る
日頃練えし我技ふるひ
大和男子が腕の冴
太刀の切れ味思ひ知らさむ

嗚呼千載一遇の時
樂しい哉我務
快き哉義勇の戰!!

思ひ昂りて見上ぐる空
狂風一陣枕を拂ひ
露營の露の亂れてしげし。

（終）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ッ當り

（本欄の言論に就ては本社其責に任ぜず）

八方醜婦

此欄に暫らく御無沙汰致して居ましたが、燈下讀者に親しむ可き時候になりましたので、又再び茲に筆を採つて少々八ッ當つて見たいと思ひます。ソレに今日は久ぶりですから、思切つて六ヶ敷くこれ廻はして見たいと思ひます。

婦人論も此頃は一ト盛りに比べて見ますと、大分下火となつた樣に見えますが、然かしまだ中々鎭火と申す迄には參らぬものと見え、たまには、あちらこちらの新聞雜誌類に其議論も拜見致すのみならず、其内容が段々深く且つ込み入つて來た樣であります。現に十月號「廿世紀」などには一寸讀者の好奇心を唆る樣な「女と男の戰」と云ふ奇拔な題目の下に、諸家の婦人論が出て居り、其内小口みち子さんの「男子の横暴時代」だの青柳有美氏の「挑戰的女子の末路はカイセルに等しからん」など云ふ振つた御議論は一寸此頃の獨逸や支那の外交と均しく、大分虚喝がある樣に思はれて讀み行く内に時々微笑を催ほした事もありましたが、大體は餘程眞面目で且つ深く思慮を費せし跡の歴々として見えます樣になりましたのは誠に嬉しき事だと思ひます。

トコロが如何なる問題でも多少の誤解のあるものですが、殊に婦人問題に關してはそれが多くあります。現に今度の「廿世紀」の題目の如き「女と男の戰」などと云ふ事は抑も本問題の終局の目的でありませぬ、新聞雜誌社は其商賣の掛引上、ワザト奇拔な題目を掲げて讀者の好奇心を惹く事もありませう。又私共婦人中の熱心なる方は其熱心の餘り男子に向つて漫りに挑戰の態度を採る人もありませう。而かし戰は何時も悲慘のものです。男女孰れが勝ち孰れか敗けるかが本問題の趣旨ではありませぬ。本問題は決して男女の間柄を阻隔せんとする目的を以つて居るのではなく、却つて現今の如き水臭き間柄をモット親密にしてお互に圓滿に豐富に人生の樂を共に味ひ、又人類の目的を完全に遂せんとするのであります。

又結婚の事にしても婦人論は決して非婚を主張するものではありませぬ。然るに世人は何なドー誤り考へたものか、本論は無暗に婦人に非婚を勸むるものと思つて大分恐慌を起して居る方もあります。現に大隈伯の如き最もよく物事の解つた方だと世間では信ぜられ居る人でも、婦人會や女學校などから演說を頼まれると、今更の樣に何時も結婚は人倫の大本だと云ふ事を說かれるさうであります。何にも伯爵にソー云はれたから始めて女は男と結婚す可きものだと知つた婦人もありますまいが、誠に噴飯の至りであります。

其他婦人論に就いては世間不尠誤解がある樣でありますが、其五六點に就いては先頃此欄内で私が縷々辯解して置きましたから、讀者諸君は最早御承知の筈であらうと存じて居ます。若し未だ御承知なき方は本社へ御申越なされば其分の「八ッ當り」を送本致します事と思ひます。

然るに之れは概れ皆婦人論に對する世人の誤解の事でありますが、本論を主張する方々の内にも其信んじ或は說き居らるゝ事に大分間違た事のあるに氣付かず、又廣く深く考へないで只自分の信んずる事のみが眞理であつて、他は皆間違つて居ると思ひ詰め、無暗に他の婦人論者を嘲けり同志打を敢てする人もある樣であります。殊に私共婦人の仲間に其樣な人が多くある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

様に感じます。之れは甚だ憂ふ可き事で、本論の實行を希ふ外に餘念なきものには不淺苦痛を感ぜしむるのであります。

（一） 婦人論を主張する方々の一部には本論は婦人の自覺を促がすものであると云はれて居ます。之れは大體に於て誰れも異論のない事と思ひます。トコロで「婦人の自覺」とはドンナ事であるかと聞くと「婦人も人でなければならぬ」卽ち「婦人が人たらんとする要求が婦人論の出發點でもあり、又其骨子である」と答へます。然らば其「人」とは如何なる事か、又其「人」になるとはドンナ事であるかと尋れて見ると、餘り明確なる答を得ませぬと、同時に「內部から醒めてくる靈の要求」が婦人論の主眼であると云ふ樣なる六ヶ敷事を云ふ人もあります。サーかうなつてきますと何の事やら、私共無學のものには其意味が益々解らなくなつてきます。まだ／＼座禪でもして「隻手の聲」を聽く方がモツト樂な樣な氣がするではありませぬか。目下の婦人論者の一部には恰かも禪僧の問答見た樣な、俗人には解からぬ事を互に云ひ合つて得意がつて居らるゝ方も大分見受けますが、誠に罪な話であります。

假りに「人」と云ふ事は己れの自由の意志に從ひ毫も他人に制せられずして言行する事だ位に解して置いて、扨其「人」たる事が婦人論の主眼だと云ひますならば、敢て聞きますが、其意味に於て男子中幾人自ら「人」たる事を自覺して居る方がありませう。換言せば「人」たる事又「人」たらんとする要求卽ち「內部から醒めてくる此の靈の要求」なるものは婦人丈必要でありませうか。男子にも同樣に必要ではありますまいか成程此自覺が婦人問題の起る原因の一ではありませう。而かし之れは男女兩性に共通して必要なる「人間問題」であつて「婦人問題」夫れ自身ではありませぬ。若し此の爲めに婦人問題を惹起す必要ありとすれば、同時に其意味に於て「男子問題」を唱ふるの必要がありはしますまいか此の自覺は婦人のみならず男子にも缺けて居る點であります。決して婦人特種の缺點だと斷定する事は出來ぬのであります。卽はち男女共有の缺點であります。然るに婦人論者中には大分此の「人間問題」と「婦人問題」夫れ自身（プローパー）を混雜して明確なる區別の解らぬ結果として前陳の樣な禪僧の問答見た樣な事を云ふ方があるのではありますまいか。

然らば此の一般的なる「人間問題」がドー云ふ風に特種の「婦人問題」となるかと云ひますれば例へば婦人が只「人」たらんことを己が心中で思ひ又欲して居る間は單に「人間問題」でありますが、一度之れを己が婦人特種の境遇に當てはめて、之れを言文に顯はし、或は之れを實際に行はんとして其方法を講ずるに至り、始めて「婦人問題」なるものに變形するのであります。蓋し男女を問はず、己が心中で勝手な事を考へ思つて居る內は、何等の壓迫も受けず、妨害もされぬのであります。卽はち思想は全然自由であります。而かし一度之れを言行に顯はし或は其目的を遂せん爲めに種々の方法を實際に採らんとするに至りて始めて反對にも逢ひ議論も起つて來て、茲に始めて一種の問題の形となるのであります。婦人が單に「人」たらんと考へて居る內は一片の思想に過ぎないのであります。而かし一度之れが外部に發するに及んで、始めて一種の「婦人問題」の形式を備ふる事になるのであります。卽はち單に「婦人も人でなければならない」とか或は「人たらんと」思ふてのみ居る丈では未だ「婦人問題」なるものゝ資格を具備して居るとは云へないのであります。之れを實際に行はんとするに至り始めて「婦人問題」の形式を具備する事になるのであります。

素より如何なる問題でも夫れ自身で絶對的のものはないので、何れも皆相對的のもので、必らず他の問題と關聯して居る事は勿論ではありますが、兎に角或る一ツの問題を考究又は主張

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

する場合は其問題が他の問題と相關聯して居る其區別を明かにして置かないと追々とトンデもない間違に陷入り易いものであります。「人間問題」と「婦人問題」とは其關係して居る事は最も密接である事は論ずる迄もない事ではありますが。「人間問題」の一般的に且つ茫漠的なるに比し、「婦人問題」は特種のもので又具體的のものである事を明確に心得て置く必要があらうと思ひます。

故に常に「婦人は人たる可し」とか、「内部から醒めてくる靈の要求」とか、或は「婦人の自覺」とかを説く方々はモット其主張を誰にも解り易く具體的に述べらるゝ必要があらうと思ひます然らざれば單に其人方は解らぬ事を得意氣に云つて居る人だと云ふ廣告にはなりませうが、切角の主張も熱心も其効果は餘りなからうと思ひます。

（二）それに此一派の婦人論者に限り、自らイヤに高くとまつて、教育、職業、政治、法律又は社會制度等に婦人が男子と均等なる機會とそれに適應する訓練を要求する努力を第二義的手段的のものに過ぎないと、冷かにケナス一種の悪風があります。成程自分の所信を熱心に主張するのは至極結構な事であると思ひますが、何にも他の人の向上進歩せんとする努力迄も冷嘲するには當らないのであります。かゝる擧動は之れをなす御本人方は頗る得意かも知れませぬが、適ま〳〵以つて其人方の未だ修養の足らない事を證するのでありますまいか。或人は此事に就いて其人方は未だ教育や、職業や、政治や、法律や社會制度等に關する智識が十分でなく、是等の具體的なる問題に對して的確なる意見を述ぶる事が出來ず、さりとてさうとは明らかに云へず、不得已「靈的」とか「内省」とか成丈素人には解らず（御本人にも眞に解つて居るかドーか）捕まへ所のない言語を弄して他人の説は一切「徹底しない、愚劣極まる」ものだと獨り極めにきめて高く雲がくれし白眼以つて世間を睥睨して獨りエラがツテゐる—であると悪罵して居る人もありますが、私は決してソーは思はぬ、却て頗る其人方の言行を善意に解釋しては居りますが、兎に角之れはお互に大に愼しむ可き事だと思います。

譬へば今度の三週年記念號の「青鞜」に掲載されてあります雷鳥女史の「最近の感想」中にある「醒めやうとしてゐる女の中の或る者は早くも誤つた方向に走つて、物質的人生觀に囚へられ、單に外部的に解放せられたばかりで却て生命の本源から遠ざかつた」などと云つて居られますが、之れは誰をさすのか知れませぬが、醒めたる女は自分ばかりと云はぬ計りの云ひ方は如何にも氣障に聞えます。なにもソー人様を下げすまんでもいゝぢやありませぬか。又九月號の「新日本」に同女史がエレン、ケーの事を論ぜられた中に、ケーは「男子と同一なる生活に入るの自由を要求すと主張する婦人問題論者の群にはくみしない」とは何たる不遜の云ひ方でありませう。ケーの著書は私も四五冊は持つて居ます。未だ其の何處にもそんな不遜な人もなげなる文字は見當らぬのであります。かゝる云ひ振りは只に女史自らの人格を高かむる所以の道でもなければ、又女史の崇拜なさるるケーの徳を増す所以の道でもありますまい。女史自らが自分の人格を卑しめらるゝ事は女史の勝手であります。而かしドーカケー迄も其の卷添へにせぬ樣切に祈ります。

（三）全體昔から妙に精神を尊び物質を輕んじ、形而下の事は殊更卑下し、其反對に形而上の事と云へばイヤに勿體を付け、外部の事と云へば眼中になきが如く一圖にケナし、内部の事と云へば其反比例に解らぬでも（否或は解らぬから）殊更に深遠神祕さうに誇做し、肉體を賤しめ靈魂を敬ふ慣習がありますが、私は敢て唯物論者の如く宇宙は精神も靈魂もないもので、總て皆物質の作用に外ならぬと主張はしませぬ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又其代りに唯心論者の如く何物も皆精神作用の反影に過ぎないとも思つて居ません。實は私の知つて居る範圍内では、兩者孰れが眞理なるやを的確に證明する丈に今日の哲學も科學も未だ進歩して居るものとは私は思つて居ません。而かし肉や、物質や、形而下の事や、外部の事は一切賤しむ可きもので、精神や形而上の事や、内部の事や、靈魂の事は尊ぶ可きものであると云ふ事は、舊來の一慣習に過ぎないもので、内外や靈肉により貴賤上下の差別をなす人は、此の古き何等根據なき習陋に囚はれたる人と思つて居るのであります。男女を問はず、今日の新らしき人は皆かゝる因襲から一日も早く解脱し、一切の差別に超越して只眞理をのみ求めなければならぬと信じて居ます。

（四） それに人類進歩の源は智識にある事が萬人の認めて居る眞理であるとすれば、心理學者に聞く迄もなく、智識は五官を始め皆所謂外部より啓發されるものであります。若し歴史の證明に對して何等信を措くに足るものありとすれば、國民又は種族の教育、職業、法律、政治社會の制度等所謂論者の第二義的、手段的のものと卑しめらる事柄が其進歩不進歩の岐かるゝ原因となるのであります。自覺もよろしい、覺醒も結構です「人たらんとするの要求」、「内部から醒めて來る靈の要求」何れも皆可ならざるなしであります。而し論者の所謂二義的、手段的とケナさるものゝ伴はざる總ての覺醒や要求は皆一の空想に過ぎないものであります。實行の伴はざる空論は暇つぶしには誠に以つてこいかも知れませぬが、個人の幸福と人類の進運には何等効果のないものであります。

（五） 十人十色とはよく云つたもので、如何なる事柄でも世人は種々異つた考を有つて居るのであります。殊に婦人問題の如き込み入りたる六ケ敷問題には萬人が萬人各々異りたる意見を有つて居ると云つてもよい位であります。千紫萬紅は天地の美觀に必要であります。千變萬化は人類の萬物に長たる所以であります。十百の意見、千萬の考が互に混化融和して始めて一種の壯觀を呈するのであります。お互に自分の信ずる所に忠實なるは誠に美はしき事であります。而かし之れを信ずるの餘り、他の說は一切間違つて居ると考へ、甚しきは之れを卑下する事は實に賤しむ可き事であります。人間が神樣でない限り、決して全知全能ではないのであります。自分の說よりは他人の說の方に案外眞理が餘分に含んで居る事もあります。婦人運動の如きも、其目的が婦人の向上進歩に一致する以上お互に小異を忍びて大同せればなりませぬ。清濁併せ呑むの雅量は何運動にも必要であります。一軍團の中には歩兵もあれば砲兵もあり、騎兵もあれば工兵もあり、是等が皆一致團結して活動すればこそ勝利は得らるゝのであります何運動にも熱心家もあれば彌次馬もあります。大河は細流を厭はず、泰山は土壤の寄り集つまつたものであります。我國に於ける婦人運動の前途は誠に遼遠であります。功名爭や、同志打は一切やめて、互に相容れ互に相勵まし、各人の智慧と分別を合せて、左右前後に氣を取られず、只々一大目的に向つて突進せればならぬのであります。

最後に望み私は玆にオリヴ、シュライネルより左の一文を引照して此「八ツ當り」を結びたいと思ひます。

既に各地に散在せる婦人運動者の目的卽はち其唱ふる所は同一でない。譬へば（一）或者は婦人も男子と同樣に公共的、社會的職務に於て信用ある地位に立つ可きであると唱へ（二）或者は婦人は修養の爲め確固たる努力をなさなければならぬと主張し（三）或者は婦人の勞働の範圍を擴張し、且つ其報酬も男子と同樣たる可きものであると叫び（四）或者は男女兩性間の關係を改善せんと謀り（五）或者は個人動作の自由を說き（六）又或者は個人の自覺を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高調する等、千差萬別である。而かも此等の異りたる又一見掛け離れたる運動が、混化し調和して終に世界に於ける一大運動となるのである。

ドか我國の婦人運動者も皆かゝる廣き大人らしき考をもつて其事に當つてほしいのであります。

女子の天性

讀者　中村生

何人と雖も恐らく現在より更に一段高くならん事を願はないものはない、一圓を得れば二圓を欲し、二圓を得れば三圓を得んと欲するが如く、縱ひ夫れが比較的無慾なりと呼ばるゝ宗敎家に於てさへ、其の信仰の度の現在よりより強く、より深く、或は他人よりもより熱心ならん事を望まぬ者はない。事柄に世の目から見て貴賤の差が在つても其の高からんとする慾求には變りはないのである。如此吾人は不斷に向上を欲して居るが、此の向上心の働きを表示する爲めに改良、改革、革新或は發展抔と云ふ言葉が用ゐられて居る。此等の言葉は凡て善進即ち一物は常により有益なる方面に改進すると云ふ意味を有して居ると思ひます。而して今云ふ處の向上心は吾人人類の心的作用中の重大なるものでありまして、之れが又實に自然の大理法である私はこの意味から推して問題の新らしき婦人とは如何なる女を云ふのであるかを考へられはせぬかと思ふ。元來此の向上心は如何にして何處より起るか、人生の目的は眞正なる幸福を求むるにありと云ふ處に胚胎し、より大なる幸福を求めんとする追求心即ち向上心であると思ふ。詳に云へば人は汚れたる着物を着て居る時には常に不決を感じ洗濯された衣服を纏ふ時は神心共に非常なる爽快を感ずるものである、此の愉快が繼續されて幸福を作り、更に大なる幸福を求めて新なる物を作り、美麗なる織物を工夫して、斯界の發達を遂ぐるのであるとすれば、快心は向上の刺戟であると云はればならぬ。諸科學の進步を稱して新機軸を開いたとか、新發見をしたとか、或は改良、革新とか云うて、皆新の字を附してあるのを見れば、新らしき女とは舊弊を脫し、自然の理法に從て向上し進步して居る女の代名詞であるが、近來欧米に於ける新らしき女と云はるゝ團體が果して眞の自覺したる新らしき女であるかを彼等の運動より推察するに疑問百出せざるを得ない。彼等新らしき女も確かに自覺したる女には相違なきも、自覺の程度未だ淺薄である。思ふに彼等は人として自覺したるに過ぎずして女子も人なり、人とは男子のみの云に非らざるを知らない。彼等は男子と凡て行動を同うせんとして女子の天性を棄て男子の天性を女子に移さんとするが如き不自然なる事を敢てせんとして居るのである。眞正なる幸福は天性を遂ぐるにありと云へば女子が其の天性を抱て或る事に成功したりとて何の幸福が得られやう。私の思ふ新らしき女とは人たるの自覺あると共に女子の天性を知りて絶えず向上進步を遂げて、我は人なり、我は女子なりと自からを欺かざる人、其の人である。

▲豫告　次號には島田筑波氏の「八百屋お七」法學士大塚小一郎氏の「婦人問題に對する吾人の態度」(共に長文)を掲載します。

▲米國大統領と姓名判斷　米國大統領ウキルソン氏は其の昔、大學の教授たりし時に、トオマス　ウードロー　ウキルソンでは長がすぎる、姓名の長過ぎることはドレ丈け其人の高名になることを妨げるか知れぬと云うて、トオマスを廢し、單にウードロー　ウキルソンと云ふことにしたのだソウな。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蛙聲會の記

コノ字記

十月十日四谷愛住町の濟子さんのお宅で蛙聲會を開く、內々の事だが濟子さんのお宅の事を私はよく四谷の蛇の巢と云つて居たのでした、何故に人樣のお宅のことを蛇の巢と云つて居つたか、それよりも濟子さんのことを蛇と云つて居つたか、それは知る人ぞ知る、私は蛇が恐いから卽ち濟子さんがオッカナイ故に……「よつやではじめて逢ふた時」と云ふのは荒木橫町の事らしく其橫町よりもう一つ新宿の方へ寄つた橫町を一町程步いて行く道すがらに、山の手の秋の氣分が溢れて居りました、お下げのリボンの赤い色、風なきにちる楓のわくら葉、金か銀か木犀の甘い香り等、

御門を這入つて洋館の方に行くのか知らむ、內玄關の方へ行かうかと一寸まごついて居ると右手の二階から賑やかな女の聲がする知らず識らず其聲に惹かされて右手の內玄關の方へ這入つて終ふ。

聲の主は……それは先着のきむ子さん、遲刻をしたのかと思つたが先着はたつたお一人まあよかつたと落着いて終ふ。

文子さんは足が少しむくんで出席が出來ないとのお斷りだと聞いてがつかりした、あの活動家が缺席をするのだからよく／＼だと思つた、入會以來いつも缺かさず顏を見せて下さる並木さんも缺の字、カラ／＼と云ふ下駄の音、誰れかと思つたら岩崎夫人の愛子さん、其次ぎが伊藤朝子さん、お二方とも隨分と久方ぶりでお目に懸つて嬉しい。

眞間手古那の昔話が出た、私が手古那であつたならと云ふことになつて、勿論一も二もない死ぬことに大贊成のきむ子さん、一ぺん死ぬと二度とは生きられないから考へさせて貰ひたい志願のあるコノ字、どちらか逃げさうな男と死んでやるわと云ふ濟子さん、哲學者は石の如く默つて居ました、此默つて居る人が決して默つて居ないことになる朝子さんの沈默の雄辯が一番氣にかゝる、高野の山の石童丸から、昨日そつたも今道心をとゝひ剃つたも今道心の前身たる筑前筑後肥後肥前の領主加藤左衛門重氏樣が問題の人となつて終つた、奧方と愛妾との黑髮が蛇となつて喰ひあつて居る幻を見て、卽刻髮をそつて高野の山へ遁れ入つたことに就いて異論が出た。戰國時代の武家として、女の黑髮の蛇を見た一刹那に於てあらゆる名譽も權力も野心も自己の一生も捧に振つて終ふとは一寸常識としては受取りかねる、周圍の事情から重氏の當時に於ける心的常態をもつと明瞭に說明しないと戲曲としての價値が疑ぐられる。

重氏の心事の罵倒をしたに就いて猛烈なる反對黨の議論もあつて大分火花が散つた。

紫式部は徹底し切つた新らしい偉い女であつたと式部に頌德表を奉つたきむ子さんは、藤原時代のやうな工合ひに女も自分を養ふだけの力をもつて、男と女とが自由に行つたり來たりするやうにしたい、男にのみ責任を持たせて權力を振はれるのが厭だと云ふのは少し女の方が無理だと云つた。

きむ子さんの身邊から春風が吹いて、急にあたりが柔らいで來た、女がもつと／＼しなければならぬ事は夜の蒼空(そら)の星くづよりも澤山にある、考へればならぬ事、考へて／＼考へぬいてから、猛然として破竹の勢ひをもつてしなければならぬ事が有り過ぎて困る程澤山にある。

男に對しては敬意を拂つて女が自ら省慮し勤勉しなければならぬ、それと共に男に對して戰端を開かればならぬ「あれはあれ、これは是」の區別があつて、どちらの道を取るにしても靜よりは動でなければならぬ、消極よりは積極的の道を取らればならぬ。

釣瓶落しの秋の日はとつぷりと暮れて終つた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さらばとばかり各家路へとついた、家には待つて居る人が皆それ〴〵にある、歸らればならぬと云ふ義務の念はさてつらいもの、光りの巷より光の巷へと足のふとそれ安いのは人間の通有性でしみ〴〵と沈淪や陷落をする男の心を思ひやつた、男にはおいで〳〵をする招き猫がある招かれずとも此同勢をもつて蛙聲會の二次會を何處かへ持ち出したい心はみんな同じに一杯であるのだものを……

又逢ふ日までさやうなら、門を出る時ふりかへると今迄話し合つて居た高樓にはまぶしい程明るさが一杯いになつて清子さんの姿が見えなかつた、勾配の強い森があり坂道があり何とはなく箱根の温泉場を思ひ出すとひとりは云つた。

十五年前の秋の日に叔母に連れられて遊びに行つた津の國の有馬の温泉場にも似て居るとヨノ字は思つた。

御夫婦のやうな樋口さんと平澤さんは申合せたやうに出席をし申合せたやうに缺席をされる閨燒きではないが穩やかではない。耳がわるければ目だけでよい狸さんが來ないのも不平だ、親切なスノ字さん、なぜ狸さんを連れ出して來て下さらない、此の日の出席者、山田、日向、小口、伊藤、岩崎、某夫人(外に疑問の影武者一人)

代理部新設の御披露

新眞婦人にては會務擴張發展の一手段としてこゝに代理部を新設致しました、代理部に於て取扱ひ致しまする事項の詳細も是亦號を追つて悉く發表致しますが

婦人の日用品、家庭必須品、裝飾品等にて經濟的にして實質の優れたる優等品を利益の多少を犧牲にして、嚴密なる實驗をした上に於て、愈々代理部に於て發賣すべき價値を見定めた後に於て御紹介をする事に確定致しました

東京市内の會員の方々へは販賣員をして時時御用を伺はせる場合もあり御註文のあり次第お届けを致します、地方の方々へは小包郵便を以つて御發送いたします

日本全國の津々浦々より世界各國の隅々より埋もれた寶玉を掘り出す程の意氣込をもつて、一度使へば其味の忘れられぬ程世に有り難い物計りを御紹介致す覺悟で御座います、永當々々御引立の程を伏して御願ひ申上ます

代理部事務取扱所
東京市芝區公園地十五號十一
主任 小口みち

姙娠帶
(姙婦保健之秘訣)
(實用新案三一一九一號)

發賣以來忽ち帝都の貴婦人界に歡迎せられたるサンライス姙娠帶は下垂したる腹を心地よく締め上げ姙娠に伴ふ苦痛(下腹の壓重、下肢浮腫、靜脉怒張、痔核、重きは腎臟炎、子癇)を豫防し從て分娩の間際迄樂々と家事に從事することを得て母體の健康を保つ故胎兒の發育宜敷安產は勿論產後の肥立も意外に良好なりとて產婆諸姉の大好評なれば家庭の幸福を望まるゝ方方は之が使用に躊躇する時にあらざるべし特に腹の冷症の方が着用すれば其奇効に驚く人多し
鯨尺にて腹部の廻り二尺二寸より小さき方、又は二尺五寸より大きい方は寸法を御通知下さい ◎各產婆さんも取次なさいます
◉新眞婦人社代理部でも盛に取次がれて居ります

定價(甲金參圓 乙金貳圓五十錢) 送料(市内四錢 地方八錢)
東京神田駿河臺鈴木町七番地(兒玉邸内)
サンライス商店
電話本局一〇七
振替東京二七一三一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

抱月夫人に與ふる書

西川文子

昔から貞女と云はるゝ婦人の傳記を讀むと、何れも夫にどんな亂暴をされても、多年之れを堪へ忍んで居た處が最後には夫が降參して歸つて來たと云ふ風に、全く千篇一律にさうなつて居るのです。だから、我國では男女に係はらず、多年此の所謂貞女の傳記を見聞して居るので、今日も猶、婦人には『何處までも忍耐せよ』と迫まり、婦人が何か思ひ切つたことをすれば『辛抱が足らぬの、夫の名を汚し迷惑をかける恐かな女だの』と云ふ習慣があります。されば貴女の今度の家出に對しても、さうした批評をする人が、尠なからずある事と思ひます、併し私は倘ほ貴女の決心の遲かりし事を遺憾に思ふ位です。忍ぶべき事は、元より何處までも、忍ばねばならぬでせう、然かし忍ぶべからざることは、一日一刻と雖も忍ぶ必要はありません、今日までの貴女は其の忍ぶべからざる事を忍んで居られたのです。それで私は決心がおそいと云ふのです、けれどもおくればせながらも貴女が最後の決心を爲された其勇氣を賞讚せずには居られません。四五人の愛兒を抱へた今日までの普通の夫人としては全く勇氣があると云はねばなりません。けれども子女の愛にひかされて心ならずもおめ〳〵してゐるなどは、全く無自覺の極であります。愛は婦人の全生命です、其の愛を奪はるれば婦人として最後の決心をせねばならぬのは云ふまでもない事です。

先達の新聞に、或一婦人は妻ある男とは知らず、前後十七年もの間、妻にして貰へる心組で節操を弄ばれて居たと云ふ記事がありました。しかも男は元中學の校長で、女は家庭教師と云ふ身分です。かう云ふ誤魔

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

化しをする男子の多い日本に於て、抱月氏の如きは實に眞面目です、一度須磨子に愛が移れば一切須磨子になつて了つて、世間の思惑だの、貴女の手前だの、乃至は子女の悲しみなども顧みないと云ふ所に其の正直一方の性格が見はれて居ります。けれども私は抱月とも云はるゝ程の智者が、何故須磨子との愛が深くなり、いよ〳〵別れられぬとなると共に、貴女との關係や、子女の處分に就てそれ〳〵貴女に向つて、協議しよき處置を取られなかつたのを遺憾に思ひます。もとよりかゝる事は談判が面倒になり易いものですが、事を今日迄も明白にされなかつた抱月氏の心を解剖して見れば貴女の泣寐入りを豫想し希望して居られたものとしか思へません。して見ると正直な抱月氏の心にも日本男子通有の横着心が潜在して居る事と信じます。

私はかねて貴女が餘りに大人し過ぎるかの如く見えるのを、人事ならず齒痒く思つて居たので、遂に泣寐入になられなかつたのを愉快に思ひます。能く淨瑠璃本などには夫が女郎などと深くなつて、離縁を申渡された妻君が、子守としても、下女としても置いて下さいと泣きつくのがありますが、私はそんな卑屈な女を好きません。貴女の今度の家出はかゝる卑屈な淨瑠理本的婦人に優る事數倍です。

さて家出をなされた貴女は、如何なさるお心組です。遁世して尼さんにでもなる御所存なのですか、それもよろしう御座いませうが、私はそれよりは、貴女の職業婦人となられる事を希望いたします。何か仕事を爲さい。夫に捨てられたら、尼になるか、身投をするより外に道がないと云ふのは狹い量見です。舊い型です。何か適當な仕事を見付て、世に出で、貴女の後半生に光榮と幸福のある様に努力せられて、且つ同じ様な運命に陷つた婦人方に新しい典型を示されん事を切に〳〵希望致します。抱月夫人よ、強くあれ、強くあれ、もう最後の決心して家出せし以上は一切の過去は凡て打忘れて、將來にのみ希望を抱き、貴女の道をお開きなさい私は貴女の境遇に滿腔の同情を注ぐと共に切に將來の幸福を計らるゝことを深く希望いたします。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人美容法研究會趣意書

同會主任　小口みち

婦人に權利を與へよ地位を與へよ、智識を開發せしめて四屋の暗の鎖をきつて、光明の世界へ解放せよとは、突如として起つた日本婦人の中の先驅者の叫聲であります、獨り日本のみでなく文明國に於ては世界何れの國に於ても同じ叫びの下に猛烈なる戰を男子閥に對じて挑んで居るので御座ります。

婦人は唯だ女らしく柔順と云ふ二字の下に終始して男のよい意味に於ける慰藉者、惡るい意味に於ける玩具であつて、それで婦人が甘んじて居るならば、男の意を迎ふるために男の好みに任せて、媚を賣らねばならぬ、男の愛を惹くと云ふ事が女畢生の必要條件として、何でもかでも美しくなければならぬ、よしそれが不自然な美しさでも虚僞な美しさでも假面でも、それは問ふ所ではない、白粉をぬり長い袂を翻がへして、心の中では冷い赤い舌を吐いて居ても、なよ〳〵と弱弱しく羞づかし氣に男の憐憫心を挑發して、それに乘じて暗中飛躍を試みねばならぬ、男の憐憫心男の動物的本能を利用して、寄生蟲となつて生息をしなければならぬ。

前述のやうな理由の下に女はいつも男よりは美しい着物を着、白粉をぬり髮形を整へて寄生蟲としての面目を保つて居りました。

それが女の勤めであり嗜みであると敎へられて、唯唯としてそれをして參りました、考へて見ると隨分と永い間、美しい虚僞な夢路をお互ひに女は辿つて參りました。

さう云ふ夢はよし美しくとも乾度さめるべき時が參ります、既にお互ひの枕元には旭日が赤々と照りはえ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てカーテンを透して我々婦人の寐貌を覗き見て居るので御座います。

私共はどうしても覺めずにはゐられませぬ、一旦目覺た後の私どもは一體どういふ風に行動を取て今後は身を處して行つていゝので御座いませう、一たん女が覺醒をした以上は男同樣に働いて行かねばならぬ、男同樣に自らを養ひ活かして行かねばなりませぬ、其處には解放されたる婦人の悲しい淋しい一種云はれないみぢ目さを經驗しなければならぬので御座います。

枯野に冷い風が吹くやうな荒涼たる自分の胸を抱いて獨りで慨き悲しむ中に婦人は段々と強く偉くなつて參ります、こゝが非常に注意をしなければならぬ大切なる婦人の危期で御座りまして、適當の慰籍すべき何物もなく渇きたる心臟をうるほすべき一滴の雫もない時には、身は女にして女にあらぬ變性の男性的女子となつて終ひます。

これから後の社會は段々と複雜になつて參りまして變性の婦人や生活のために靈肉共に疲弊し切つた婦人が續出して參ります、ヤゝもすれば婦人特有の美點が悉く破壞され盡すべき恐れがあります。

かゝる憂ふべき傾向を未然に防ぎ、私共婦人は現在よりももつと美しく淸く高く、さうして強く偉くなつて生存の意義を明らかにしなければなりませぬ。これが婦人お互ひの責任であると思ひました。

婦人美容法硏究會は新時代に處すべき婦人の美と云ふものに對しての識見を高め、かつこれに依つて婦人の品性を高尙にし優美にし、尙ほ職業を求むる若き敎育ある婦人のために、婦人に最も應はしい新らしい美しい職業を授けたいと云ふ趣意の下に生れたので御座います。

詳細の事項は、號を追つて發表します、本誌の讀者諸姉幷に關係者の方々に於ては、出來得る限り硏究會を利用されたく種々御便宜を計らひたいと存じて居ります。

硏究會の致しまする事業の項目は大體左の通りであります。

新式美顏法の施行及び敎授

化粧法(白粉のつけ方、顏の扮りやう其他)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

裝身法（召物の着方帶の結びやう一切）
此外色と色との調和、模樣もの柄合等の選擇に就いての一般の研究又御相談にも應じ經濟的にして而も實質の優れたる化粧品、裝身具婦人用品の高需の取次等

時間と會費

午前九時より日沒迄　會費一回五拾錢

休　日

毎月曜日

特別會員募集（會費一ヶ月壹圓）

特別會員は毎月三回皆樣の御都合よき時にお出でになれば美顏法をして差上げますなほ質疑應答高需品の取次には特別の割引を致す等色々の御便宜が得られます

尙ほ又地方の都市等に於て此種の職業に從事したいと思召す方には御相談に依りて修得の道をも講じて差上げます。美容法研究會は左の所に設けました。

東京市芝區公園地十五號十一清光寺境内、

編輯餘錄

■夕子樣より　夕子こと色々と御社にお世話樣になりまして、誠にありがたく存じます、此の度夕子はさま／＼に悲しい事情のもとに愛する文藝もすべての物も打捨てなければならぬ悲しい運命となつてまゐりました、新眞婦人同人樣にどうかよろしく、いづれ又お世話になりますから。（十月十四日）

■平澤福子樣より　私はこの間の蛙聲會にて御目にかゝりに行く事が出來ると悅んで居りましたが、耳が惡いので行く事が出來ませんで、誠に殘念でなりませんでした。

■井上すみ子樣より　私も一昨日で父上の百日も濟みましたから、今度は何處へでも出られます、昨日大塚の方まで參りましたから、朝子樣のお宅を御訪れしましたら牛込とかへ御引越の後で御座いました。（十月十三日）

■伊藤朝子樣より　雨の日の蛙聲會は又一入と存じまして、今日は是非參上致し度殊に私の爲めに、籐椅子までしむけて待つて居て下さるとの事、朝から心はお宅の方へのみ飛んで居たのです。所が折あしく今日は良人が是非外出致さねばならぬ事件が出來まして、一時半頃歸宅致しました故、今から直に出かけやうとしますと良人が此雨のふるのに今日は止したらよいでせう、雨ばかりではない風もある、夜に入ると歸りは一層道が惡くて困るから、こんな雨のふる日にはきつと皆さんも、どうだかわからないからなど申して、切りに私の外出を止めやうとつとめるのです、其癖自分にはくす／＼笑ひながらこれからお湯へ行くなど云つて、手拭と石鹸を持ち出してゐるのです、でも私は行き度いから是非行きますと申しましてもいや今日は止めた方がよい／＼と申して聞かないのです結婚して足掛け六年殆んど私の意志を束縛した事のない良人が何故か今日の外出を止めますので、私も果はをかしくも珍らしき感じがしまして、それでは今日は貴方の束縛を有難く頂戴する事に致しませうと申しまして止めることに致しました、右の次第にて皆樣には濟みませんけれど、失禮致しましたから惡しからず思召下さい。（これは九月、みち子さんの宅で開いた蛙聲會の日のお便りです）

■山田きよ子樣より　前略今度書いた原稿はいまゝでからみると割合に自信のあるものの出來たかと思つて居ります――秋で感傷的な氣分に成つたので寂しいものに成りましたがやせた位ですから少しはいゝだらうと思ひます。

毎日此ごろは大阪の店から用事のための電話が來たり、店員が參つて居たりいたしますのでごた／＼した日ばかり送つて居ります、少しは勉強もいたしたいと思ひますがなか／＼落つくわけにまゐらないのです、――もつと／＼勉強していゝものを書けるやうに成りたいとれがつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て居ります。

（きよ子さんのものは、いつも深い強い力ある自信あり相な作だと拜見いたされますが、今月號のは眞に仰せの通りだと存じます。）

■K子樣より　今度は又叱られるかもしれませんが、ちがふ名で一度出しますよ、なぜなら、自叙傳のやうになるといやですからね、このごろのいはゆる閨秀作家のものを見るとみな日記のどうかしたの見たやうですからね、お互にうつかり出來ませんよ、しりあつてゐる友の中で、偶然モデルになりさうなのをみては、あれかこれかと、尋ねるやうになりますからね、私はそんな事はいやですものね、ことに此ごろ又婦女新聞が瀧口や横笛を持ち出してゐますかられ、筆はつゝしまればならぬとつく〴〵想ひました、世の人の考へは舞臺と樂屋と一緒なのですから、うつかりして居ると大變な誤解をうけます――。

■並木さき子樣より　新眞婦人を御送り下さいましてありがたう存じます。私も毎月十部づつ引受けさして頂き度いと存じます、左樣な事の御誌として御本意でないと云ふ事は承知をして居りますが、新眞婦人の發行を待ち焦れるやうな嬉しい友の少ないのを悲しみ、我々の煩悶を輕くして下さる御誌への月謝の少ないのを悲しみまして、まげて御願ひ申上ます、御紹介下さいました小口樣へもほゞ其の話は致しておきました。

■皆樣の深き御熱心にて見本擴張の爲めに毎月毎月多くの部數を御引受下さいまして、廣く友人知人の方々に御講讀御勸誘下さるのを深く感謝致します。從前の方々は相變らず御引受下さいますが一々誌上に發表する事は略します。

今回改めて並木樣と三名の御婦人と、帝大の大久保樣とが御加はり下さいました、大久保さんは以前から本誌の愛讀者で居られた相ですが「婦人雜誌だからどうかと思つて遠慮してゐたけれど」と云つて今月よりわざ〳〵御申込下さいました。本誌の發展に就ても大に計畫致して居ります、來年から更めて大擴張に盡力するつもりで御座います、會員の方々にも一層御助力を願ひます。

新刊紹介

■**若き雄作の悲しみ**（辰巳正直氏作）　著者は六年間の長き年月を費して、此書をかゝれたと云ふ事です。若き日の影をとめて記念にせんが爲に、數日間も寢食を忘れ、書き上つた後には茫然として病人の樣になつたと云つて居られる、著者の處女作で、非常に努力されたものです。なか〳〵創作としても面白く興味あるものです。此程のものが既に名士になつた人の手になつたならば、さぞ評判される事と思はれるが、あまり世の批評に上らないのをあたら惜しく思ひますが、やがては屹度認めらるゝ事と信じます。作者は早稻田出身で、三年間も同校のボート選手であつたと云ふ事です、一寸面白い對照ではありませんか。（一圓五十錢、小石川區高田豐川町三十七、青鳥社）

■**生の悦び**（中島孤島氏譯）　早稻田大學出版部發行定價（壹圓四拾錢）是非本號で批評したいと思ひましたが、何しろ菊版六百有餘の頁數ある大部のものですから、本號ではとても出來ません、次號にて梗概を紹介する位に詳評したいと思ひます。同人で合評するのも面白いと思ひます。

▲**婦人性學**（秋元浩二氏著）　第一編性的解剖學、第二篇性的生理學、第三篇性的衞生學、第四篇性的心理學、第五篇性的病理學、第六篇性的法醫學、第七篇性的形貌學、第八篇性的治療學と分ち、婦人性學の全般に亙つて科學的に論じたものである。著者は水戸婦人科病

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長で、多年研究の結果を發表せられたものであるから、性のことを研究しようと云ふ人達には、是非一讀せねばならぬ書である。一般婦人も此の書を座右に備へて置けば色々な場合に、色々な利益を受くることが出來ると思ふ（二圓三十錢、東京神田區駿河臺西紅梅町六、甲寅出版社）

▲**少年倶樂部**（初號）少年雜誌の中には、少年が學校で學ぶ凡ての學課にわたつた記事を掲載するものが多いが、今回本郷駒込坂下町の雄辯社から發行された少年倶樂部は、夫れとは趣を異にし傳記を主として編輯し、少年に精神教育を施すを以て其の主眼として居るから面白い。初號にはわが海國の少年諸君（肝付中將）塚原卜傳（笹川臨風）電氣王（高島平三郎）ナポレオンの少年時代（長瀬鳳輔）、ビスマルク（尾崎行雄）戰爭と少年（萩野由之）勇士先陣の爭ひ（花外）、眞田幸村（大澤法學士）等がある（一冊郵税共十六錢五厘、本郷區駒込坂下町四八、大日本雄辯會）

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人
(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後御出で下さい。

投書募集

▲和歌、俳句、感想文などの投書を歡迎します。

▲毎號新刊小說を讀みての感、劇を見ての感などの投書を歡迎します。

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊（郵税共）	拾壹錢
半年分（郵税共前金）	六拾錢
一年分（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意 ●註文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割増

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年十月廿八日印刷納本
大正三年十一月一日發行

本郷區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人 西川文子

本所區香場町四番地
印刷所 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百六番地 新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

悪魔のあばれるのはこれから

美顔術御婦人化粧專門　遠藤波津子

世の中に何がイヤと申して、お若い奥樣や御結婚前の孃樣方にニキビが出來ます事で、實に憎らしい惡魔で御座います、然もこの惡魔奴は夏の末から秋にかけて時候がよろしくなり皆樣の御達者が增進致し從つてお顏の脂肪も多くなる今頃、最も其暴威を逞ふ致ます、年中では御座いますが特に每年此頃の時節になりますと各地の皆樣から、遠藤何か良方法はなきや何か藥を發見せずや、など澤山の御質問に接します、又自分も職業柄是非共研究をいたす責任と必要とが御座いますので日夜苦心慘憺研究に實驗を加へて居りました所、今回外國の或會社で新しく發表になつたニキビとりのクリームが非常に良好の由をきゝ早速試驗致しました所意外に効能著しいので大喜びをいたし精細に實質を研究し、日本人に適する樣御化粧に障らぬ樣後の黑くならぬ樣一大改良を差加へお待兼の皆樣に御答へいたす事に致しました、吹出物田蟲ナマズ赤鼻にもよろしゆ御座います（ニキビとり理容クリーム金五十錢送料八錢新橋竹川町理容館振替一四一〇〇番）

粧らず眞からあかぬけしたのがほんとの美人

美顔術御婦人化粧專門　遠藤波津子

たとひ色がお黑くつても何處となくスッキリとして垢拔けの致たのは誠に人を引付ろ力がありまして先眞の美人と申す事が出來ます、これには第一日々の洗料から注意して撰ぶ必要が御座います、石鹼なども惡くは御座いませんが、近頃學者の八釜敷く御吹聽遊ばす純良な米糠が私共の永年の實驗から行きましても最も日本人には適當な美顏美身料でお互に米の御飯を頂いてゐる以上是に敵ふ洗料は御座いません、所で嗜ある方々が御困りの樣に絕體に混物のない無砂ヌカを得ます事は非常に困難で殆ど不可能の事で御座います、そこで私共では十餘年前より田舍に專屬の水車を設け其所から理想的の純粹なヌカを得まして漸く高貴の御料のみを滿して居ましたが今回一般にも是非ヌカの眞價を知らしめ度工場か增設いたし品質にも一大改良を加へ殺蟲防腐の上地方へも送れます樣新案固形體となし安くお分致ます是非一度御試し願ます（理容固形ヌカ一打入金十五錢送料八錢新橋竹川町理容館振替一四一〇〇番）

昨日迄の乱暴が恐ろしく

美顔術御婦人化粧專門　遠藤波津子

何と申してもお顏は女の最も大切な所で誰人でも人一倍美く綺麗に遊す爲にお磨きになりますのは決して虛榮でもお洒落でもなく御婦人としての嗜で御座います、所で御注意申上げ度のは皆樣は其大切なお顏を朝夕何でお洗ですか大抵の方は硬い手拭やタオルでゴシ〳〵おこすりになります、果して其が美顏の目的に叶ひませうか？違ひます、其では返つて柔い皮膚を荒す一方で、白粉の乘らなくなろのも吹出物など出來ろのも大概其が爲で御座います、デワ何が良かと申すと歐米でフエスタウエルと申すお顏專門のが一番で、本邦では私共が實驗に實驗の末各上流の御家庭に御進め致て御好評を得ました理容手拭に優ろ品は御座いません、理容手拭はガーゼ材を手拭樣に織り最も女の皮膚に適合する樣精製された逸品で一度御使用遊せば必ず昨日迄どうしてあんな硬い物で大切なお顏を亂暴に取扱つたかゞ恐ろしくおなりです。（理容手拭二枚折一本金十二錢送料八錢新橋竹川町理容館振替一四一〇〇番）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界之日本

一冊十五錢 郵税一錢五厘

十一月號

一年分一圓五十錢 税共

□宗教心なき現代の政治家……社説
□『戰爭の哲理』の誤謬……東洋經濟新報 三浦鐵太郎
□獨逸の食料品問題と我軍備……法學博士 田中穗積
□世界之大亂と將來の日本……代議士 島田三郎

□世界當面の三問題
日露は同盟すべきか
獨逸の運命
米國は如何にするや

宗教界總攻擊

■教權と思想の自由……油谷次良七
■我國體と我宗教……法學博士 筧克彦
■本末顚倒せる現代の宗教……ドクトルオブフィロソヒー 佐伯矩
■宗教心なき佛教徒……高島米峯
■基督教界の眞人僞人……秋野基一
■唾棄すべき宗教界の弊風……世界之日本社長 橋本徹馬
■『僞りの豫言者を愼め』……早大教授 永井柳太郎
■今は『殿堂』改築の秋なり……獨立評論 山路愛山
■宗教家の覺醒を促す……慶大教授 向軍治
■宗教の根本革命……宮崎光子
■牧師界小まくり＝教會めぐり……曾田愼默

□青年時代のブース大將……山室大佐
□我結婚論……岡崎靜技
□葛のわくらは……日向きむ
□秋の歌……小口みち
□土堤傳ひ(俳句)……小林玉鬼

□我友の二週年忌……橋本徹馬
□時局講演會の記
□百事問答
□誌友俱樂部
□社會日誌□新刊紹介

發行所 東京市神田區仲猿樂町十七 世界之日本社 振替東京二六八六 電話本局五二一四

花柳病豫防液

ゼニール

專賣特許

○○○○○○○○旅行家は必ず本劑の携帶を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を装置する安全注入器は携帯至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に好適す。花柳病の滔々恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは是の「ゼニール」なり。本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決して恥づべきに非らず僅かの錢を惜みて恐る可き病に罹るべからず。説明書は申込あれば進呈す。

○○○○○○○○御婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

定價

特製（器械・藥液）	一組	二圓
甲種（器械・藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械・藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢

送料各八錢

東京銀座貳丁目
發賣元 精錡水本舖 岸田吟香
振替東京四七八七番
電 京六一一五番

東京帝國大學教授 文學博士 高楠順次郎先生
東京帝國大學講師 文學士 木村泰賢先生
共著

印度哲學宗教史

結城素明畫伯裝幀

菊判五百五十頁
總クロース箱入
定價金貳圓
郵税十二錢

本書は著者が印度の哲學宗教の大成は日本學界の本務なりといふ確信の上に立ちて久くく東京帝國大學に於て講述せる稿本を増補整理したるものにして斯界唯一最高の權威なり收むるところ吠陀（ヴェーダ）、梵書（ブラーフマナ）、奥義書（ウパニシャッド）、經書（スートラ）、及び諸學派の開展に渉り洵にこれ印度の根本思想を說述して盡さゞるなきもの苟も世界無比の寶庫と稱せらるゝ印度古代の文明について闡明するところあらむと欲するものに須くまづこの秘鍵を握らざるべからざる也

本書の特色

一、飽くまで思想を中心とすると共にその發達史的考察を忽にせざりしこと
二、材料は原典に求め一々出典を明にし文章は平易を旨とし初學者の指針たらしむると共に更に進んで研究の方法を提示せしこと
三、單に敍述に留らずして著者獨特の新見地に由り批評的態度に出でたること
四、全體を通じて組織的系統的にして相互の連絡を圖りしこと

東京小石川區原町 貯東京一五六八六 丙午出版社

東京小石川區原町 貯東京一三五三 鷄聲堂

産科婦人科
小兒科
（宅診午前
往診午後）

女醫 井出茂代

内藤新宿番衆町三一

電話番町三六七七番

西川光次郎編輯

自働道話

毎月十日發行▲一部郵税共一錢五厘

平易に實践道德、新道德を説く雜誌で配布用に適す▲五十部以上取纏めての御注文には割引す

東京本郷區駒込林町二〇六
自働道話社

皮膚科 梅毒科

泌尿器科 腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺ノ疾患

生殖器科 男女生殖器機能障害

婦人科

診察時間 午前八時ヨリ十二時
午後四時ヨリ七時

日本橋區通二丁目白木屋出口前

ドクトルメヂチーネ 中島鎌太郎

電話本局三九八〇番

戰爭と家庭教育

●高等女學校の卒業證書は嫁入道具

本校は其卒業證書を諸孃へ授與す。父母の膝下にて家事の傍ら僅少の學費と短日月に自宅にて居住の儘登校の面倒なくして卒業せしめ卒業生には卒業證を授與し在學生に徽章を佩用せしむ。文部省高等女學校に準據するは勿論資格と實力を與へ良妻賢母を養成す。女子の學校生活には種々の危險と弊害との伴ふを免れず又種々の事情にて家庭を離れる能はざる諸孃は速に來りて本校の門に學び光明の端緒を開き幸福を得よ

大日本通信高等女學校

東京本郷新花町
大日本通信高等女學校
電話下谷五三二九番
振替二四六二二番

總長 持明院子爵
校長 四元學士
學監 神戸博士
顧問 下田學士
教頭 井川學士 教授 高等師範卒業 雨宮みつ子 外卅名

新學期 開講紀念として入學金全免の外月謝免除あり

校則 見本つき申込次第無料進呈

天下千萬の諸孃が一生幸福に出世せんとせば本校に宛て(はかき)下さらば本誌の愛讀者に限り右諸先生の責任ある出世案内校則雜誌を無料進呈す

杏雲堂病院
樂山堂病院
青兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院
中原病院

○樂牛園 牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號
東京衞生園 產婆看護婦部
電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地
產婆部 大崎支局

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

●らい病

患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

腦神經精神病

東京赤坂 帝國腦病院改

青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長電芝二七四五

電芝二六六五

電芝三四〇六

皮膚病一切 たむしの妙藥

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目

本舗 橋本進世堂

ね小便 近小べん

治効確認禮狀感謝狀日々來着奏効豫期以上直接來院すれば施藥規定もあり遠地又事情にて來院出來ざる方に新式ね小便根本療法書無代呈す藥品部宛ハガキ申込め

東京本所區中ノ郷元町

電話本所三三四二番

東京新療院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御婦人用型

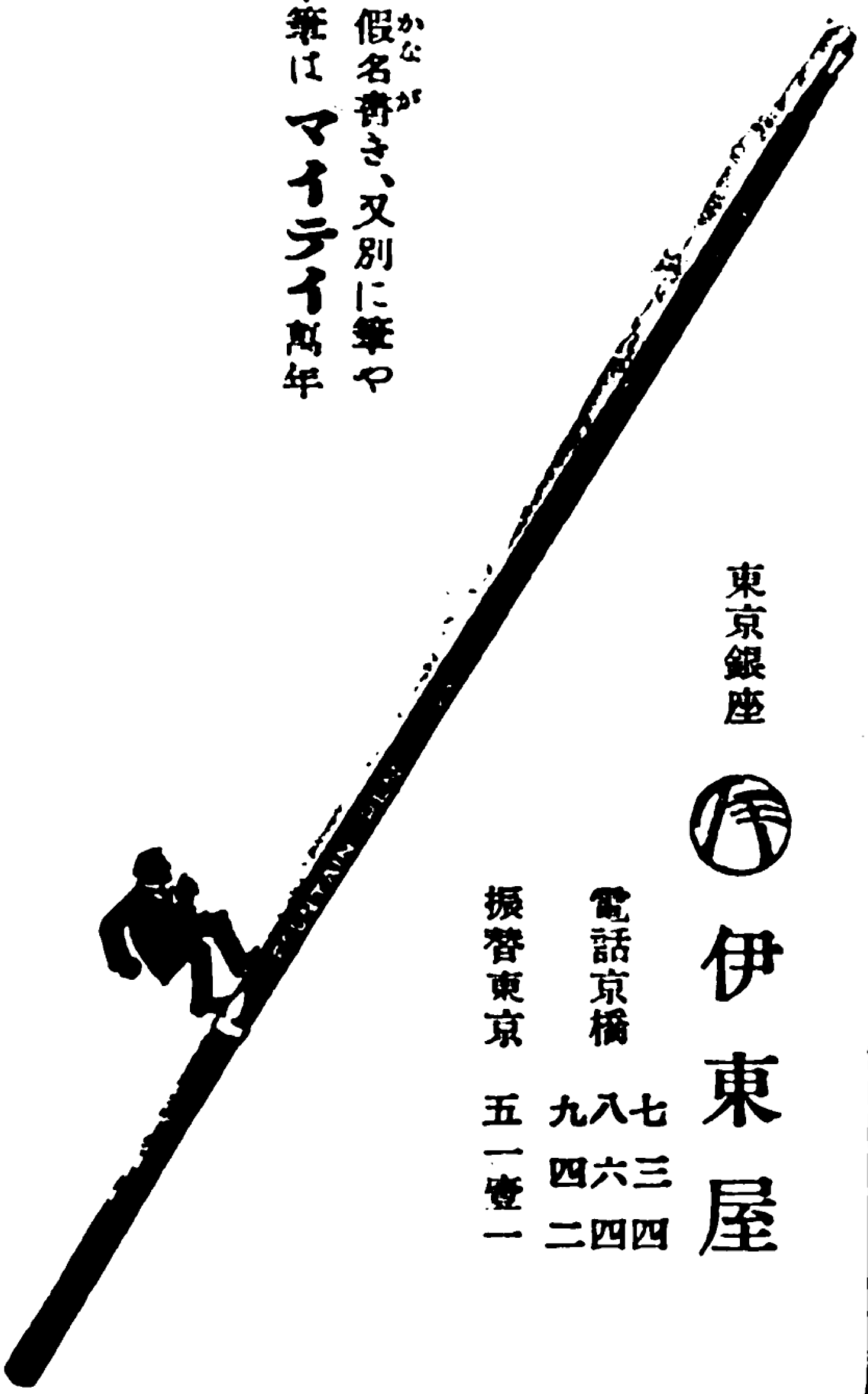
マイティ萬年筆　貳圓五十錢　郵税十二錢

細軸インキ止裝置十四金ペン先銀飾附

萬年筆を使用せよ

あの氣持よき金ペン先より流れ出るインキの假名書き、又別に筆や墨の及ばざる趣味あるを知り給はずや　萬年筆はマイティ萬年筆を御使用遊ばさるべし

階上　御進物用文房具陳列



東京銀座

伊東屋

電話京橋　七三四　八六四　九四二

振替東京　五一壹一

嬉しきホームーンにも樂しきスウヰートホームにも均しく

實母散によりて得たる婦人の健康が第一なり

改正定價表

			送料
本法實母散	壹貼	金拾錢	二錢
同	參貼	金參拾錢	二錢
同	五貼	金四拾五錢	二錢
同	七貼	金六拾錢	四錢
同	拾四貼	金壹圓貳拾錢	六錢
同	廿一貼	金壹圓大拾錢	八錢
同	參拾貼	金貳圓拾錢	八錢

■喜谷實母散 主治能効■

▲子宮病 ▲血の道

▲白帶赤帶 ▲こしけ

▲下腹痛み ▲尻腰冷込

▲氣ふさぎ ▲産前産後

▲逆上頭痛 ▲難産流産

▲月經不順 ▲經期腹痛

本舗 東京市京橋區中橋大鋸町 喜谷市郎右衛門

新眞婦人第十九號　大正二年四月二十六日第三種郵便物認可　大正三年十月廿八日印刷納本　大正三年十一月一日發行（毎月一回一日發行）定價金拾錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA